

# 年 報 17

平成 12 年度

2001. 11

山梨県埋蔵文化財センター

# 年 報 17

平成 12 年度

2001. 11

山梨県埋蔵文化財センター

## 序

山梨県における埋蔵文化財の発掘調査件数は、ここ数年間全国の現象と同様に減少傾向にあります。しかしながら遺物の出土量は増加しております（平成10年度に比し平成11年度は2倍強）。発掘調査件数の減少が必ずしも事業量の減につながるものではありませんでした。

遺物出土量が増加しているその理由としては、一遺跡の調査面積の増加に伴って発見された遺構数の増加で、中部横断自動車道建設および一般国道52号線（甲西バイパス）改築工事等によるものが大部分を占めています。

またこの他に県内の事業では、塩山バイパス建設事業が数年間継続され、西関東自動車連絡道路建設事業・鰐沢護岸工事および一般国道52号線（甲西バイパス）改築工事事業・峠北地区総合学科高校整備事業等もあります。このような中で、出土遺物についても目を見張るような遺物が発見されています。白根町の「百々遺跡」では、県内で初めて出土した「錘」があり、この錘は竿ばかりに使用されたもので全国でも十数例しか出土例のない遺物です。また本遺跡の住居跡に付設されたカマドでは、焚き口から煙道先端までその構造がわかるものが数多く見つかっています。甲府市の「久保田・道々芽木遺跡」では、「金銅製海老鉈」の一部が出土しており鍍金が施された優品であるとともに、全国的に珍しいものです。また鰐沢河岸跡遺跡からは「甲州金壺分判」が出土し、甲定金と呼ばれるものも見つかり、特に遺跡からの発見は非常に珍しく県内では初の出土です。五反田遺跡では、愛知県周辺の影響を強く受けたと見られる土器が出土しています。御坂町の桂野遺跡では集石を伴う土坑が見つかっており、底面に敷石が施されています。この敷石は、中央に大型の平石を置き周囲に角柱状の角礫を放射状に配置した構造をもち、特殊な例といえます。また新道式期の土偶では、片手に鎧を抱える形態の胴部のみの個体ではありますが、極めて珍しい土偶です。

また平成12年度には、当センターでは「資料普及課2担当」が新設され、報告書作成事業とともに生涯学習に対応した普及事業も行っています。この普及事業の主なものは、「総合的な学習」に伴って各学校からの要望に応え、センター職員が各学校へ出向き授業を行うもので、教職員を補助する形式で行うものです。特に依頼された内容は、上器づくりがそのほとんどです。しかし新設されたばかりであるため、その体制はまだ整ったものではありません。職員が試行錯誤していく中でわざわざではありますがその形を整えつつあります。総合的な学習の内容は、地域の人々の協力や地域の教材を取り入れた授業内容です。そのため専門家などの協力を得て進められています。発掘調査で得られた資料を如何に利用するか、活用していくのか。そしてまた当センターではインターネットをどのように取り込んでいくのか、その問題は埋蔵文化財センターで考えて行かなくてはならない問題です。

調査件数の減少は確かに存在するものの、調査面積の増加に伴う出土遺物量およびその後の整理作業については、どのように対処していくか問題は大きいといえます。このような中で、本当の文化財の保護や啓蒙普及活動が行なうことができるものであろうか、いつの時代でも問われることではありますが、遺跡と開発、出土遺物と遺跡の消滅など私たちの使命は重いと思われます。

まもなく山梨県埋蔵文化財センターも設立20周年を迎えるとしています。これから当センターの施設・今後の方針などをふまえて考えていかなければならぬことは数多いとおもいます。

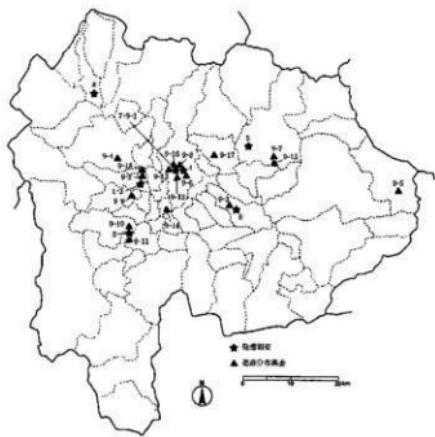
2001年11月

山梨県埋蔵文化財センター

所長 大塚 初重

# 目 次

I	2000年度の事業概要	
1	発掘調査	1
2	整理作業	1
3	資料普及課の事業（新規）	2
4	収蔵資料の貸し出し及び掲載許可	3
5	所内研究グループ・各種検討会	14
6	第12、13回市町村埋蔵文化財専門職員研修会	15
7	山梨の遺跡展'2000	15
8	遺跡調査発表会	16
9	国際協力専門技術員派遣事業	16
10	所内研修	17
11	寄贈・購入図書	17
II	各遺跡の発掘調査概要	
1	百々遺跡4	18
2	百々遺跡5	20
3	鰍沢河岸跡	22
4	久保田・道々茅木遺跡	24
5	五反田遺跡	26
6	桂野遺跡	28
7	甲府城跡〔県指定史跡〕	30
8	原町農業高校前（下原）遺跡	31
9	八ヶ岳東南麓遺跡群ほか遺跡分布調査（試掘調査）	33
III	県内の概況	
1	発掘調査	39
2	発掘調査の成果と保存整備事業	39
3	調査体制	39
	山梨県埋蔵文化財発掘調査件数の推移（グラフ）・2000年度発掘調査一覧表	40



2000年度 発掘調査位置図

所長	大塚 初重
次長	望月 英利
総務課長(兼)	望月 英利
次長	田代 孝
調査研究課長	坂本 美夫
資料普及課長	小野 正文

1. 本書は、2000年度の山梨県埋蔵文化財センターの事業をまとめたものである。
2. 本書の編集は山本茂樹、保坂和博が行った。
3. 今年度の発掘調査一覧表および資料の記載は、3月末日現在で集計したものである。
4. 第II章各遺跡の発掘調査概要における発掘調査面積の( )内は、調査対象面積である。
5. 左記の地図は、2000年度発掘調査遺跡の位置図である。なお、地図中の番号は、右ページの発掘調査の表に対応している。

総務課	副主査	三井 一
	主任	浅川 美和
	主任	矢崎 和予
	主任	畠野 博之
	業務員	久保川 一三

調査研究課第1担当	主査・文化財主事	小林 広和	調査研究課第2担当	副主幹・文化財主事	米田 明訓
	副主査・文化財主事	浅川 一郎		副主査・文化財主事	小林 稔
	副主査・文化財主事	古屋 勝之		副主査・文化財主事	斎藤 伸
	主任・文化財主事	吉岡 弘樹		主任・文化財主事	村石 真澄
	主任・文化財主事	小林 公治		文化財主事	野代 恵子
	主任・文化財主事	森原 明廣		文化財主事	網倉 邦生
調査研究課第3担当	主査・文化財主事	出月 洋文	調査研究課第4担当	主査・文化財主事	保坂 康夫
	副主査・文化財主事	望月 郁也	主任・文化財主事	今福 利恵	
	主任・文化財主事	野代 幸和	主任・文化財主事	勝俣 透	
	文化財主事	宮里 学	主任・文化財主事	深沢 容子	
	非常勤嘱託	山下 大輔	文化財主事	山中 宗博	
	非常勤嘱託	宮久保 真紀	文化財主事	依田 幸浩	
資料普及課第1担当			臨時職員	楠間 美季江	
	主査・文化財主事	長沢 宏昌	副主査・文化財主事	山本 茂樹	
	主査・文化財主事	三森 鉄治	副主査・文化財主事	湯川 修一	
	主任・文化財主事	田口 明子	主任・文化財主事	保坂 和博	
	主任・文化財主事	笠原 みゆき	文化財主事	小林 孝子	
			臨時職員	須長 愛子	

# I 2000年度の事業概要

## 1. 発掘調査

今年度は7遺跡の発掘調査と、18事業に係る試掘調査を行った。発掘調査の原因是道路建設5、公園整備1、建物建設1箇所となる。これらの調査は4月上旬から3月下旬まで行われ、主として12月以降を基礎整理期間とした。

各遺跡の概要は第II章で述べることとする。

番号	遺跡名他	番号	遺跡名他
1	百々遺跡4	5	五反田遺跡
2	百々遺跡5	6	桂野遺跡
3	鰐沢河岸跡	7	甲府城跡（県指定史跡）
4	久保田・道々茅木遺跡	8	原町農業高校前遺跡
9	八ヶ岳東南麓ほか遺跡分布調査		
番号	遺跡名他	番号	遺跡名他
9-1	甲府駅北口駐車場整備事業伴う試掘調査	9-10	中部横断自動車道増穂I.C.建設事業に伴う試掘調査
9-2	中部横断自動車道建設に伴う試掘調査	9-11	甲西バイパス建設事業に伴う試掘調査
9-3	国道137号線上黒駒バイパス建設事業に伴う試掘調査	9-12	甲府税務署増築事業に伴う工事立会調査
9-4	菲崎高等学校校舎改築に伴う試掘調査	9-13	県立中央病院増築事業に伴う試掘調査
9-5	上野原警察署桐原派出所建設に伴う試掘調査	9-14	新山梨環状道路建設事業に伴う試掘調査
9-6	甲府東高等学校グラウンド整備事業に伴う試掘調査	9-15	塩山東バイパス建設事業に伴う試掘調査
9-7	塩山警察署待機宿舎建設に伴う試掘調査	9-16	県立福生プラザ駐車場整備事業に伴う試掘調査
9-8	知事公会駐車場整備事業に伴う試掘調査	9-17	西関東道路建設事業に伴う試掘調査
9-9	巨摩高等学校図書館建設事業に伴う試掘調査	9-18	甲西バイパス建設事業に伴う試掘調査

## 2. 整理作業

整理作業は、主に本年度調査した遺跡の基礎的整理作業と、本格的整理作業及び報告書作成を以下のとおり行った。

### 1) 基礎的整理作業

番号	遺跡名	番号	遺跡名
1	百々遺跡4	5	五反田遺跡
2	百々遺跡5	6	桂野遺跡
3	鰐沢河岸跡	7	甲府城跡（県指定史跡）
4	久保田・道々茅木遺跡	8	原町農業高校前遺跡

### 2) 本格的整理作業

### 3) 報告書作成作業

番号	遺跡名	番号	遺跡名
1	保坂家屋敷跡・影井・吉畠・下西畠・大木戸遺跡（塩山バイパス関係）	5	大塚古墳（H18 報告書作成事業・北原古墳群の学術調査）
2	百々遺跡1（H11 中部横断自動車道建設・国道52号線改良工事）	6	塩瀬下原遺跡（H17.8.9 桂川流域下水道終末処理場建設）
3	横町遺跡（H11 西関東自動車連絡道路建設）	7	塩瀬下原遺跡（第4次測定）（H10 伊豆川流域下水道終末処理場建設）
4	桂野遺跡（H12 国道137号線上黒駒バイパス関係）	8	上の原下削（H10 国道137号線上黒駒バイパス建設）
		9	老番下堀遺跡（H10 中部横断自動車道建設）
		10	立石下遺跡（H11 中部横断自動車道建設・国道52号線改良工事）
		11	仲田遺跡（H11 中部横断自動車道建設・国道52号線改良工事）
		12	道々茅木遺跡（H11 西関東自動車連絡道路建設）
		13	民間信仰（国庫補助金事業）

### 3. 資料普及課の事業（新規）

資料普及課では学校等を対象に教育普及活動を企画した。その背景には出土品の活用を推進するという埋蔵文化財行政の課題がある。また、学校教育への支援・協力、とりわけ平成14年度から小中学校で実施される「総合的な学習の時間」への対応が切迫した問題になっているという事情もある。

事業は依頼に基づく講師出向の形態をとった。学習内容や対象になる児童・生徒等の数に応じて3~7名の職員を派遣した。具体的な活動は出土品などの考古資料を学校現場等へ持ち込んで授業を行ったり、土器づくりなどの体験学習を指導することが主であった。本年度の依頼件数は合計9件、内学校からのものが7件と大半を占めた。学習内容は土器づくりが5件と最も多かった。学習形態は一齊指導が大半であったが、春日居中学校のように小グループに細分化し、生徒個々への学習支援を依頼してきた学校もあった。「総合的な学習の時間」実施の前年にあたる来年度は、春日居中学校のように個別学習への対応を要請する学校が増加することが予想される。

1校（事業）あたりの職員出向回数は複数回に至ることが大半であった。これは土器づくりなど多くの学習は段階を踏んで指導することになり、そのため取り組みにある程度の期間が必要であるからである。このことから、今後依頼件数が増加した場合事業量を調整する必要が生じるとおもわれる。

総じて児童・生徒等の体験学習に対する関心は高く、学習態度は意欲的であった。また、物づくりは達成感があり、楽しく充実した時間であったという感想が多く児童・生徒等から寄せられた。学校等と交流を深めたこともセンターの活動の裾野を広めるという意味で大きな成果があったとおもわれる。課題としては多様なニーズに応じた学習プログラムの開発・改善に努めること、学習支援の方法について理解を深めること、各種教材の作成をすすめることなどがあげられる。また、考古博物館との相互補完的な連携をすすめていくことも事業の円滑な運営のためには欠かせないとおもわれる。

活動一覧（平成12年度）

番号	対象校・依頼	学習内容	日 程	備 考
1	春日居中学校	土器づくり	6/9、19	総合学習
2	春日居中学校	体験発掘（久保田遺跡）	7/11	総合学習
3	甲府東中学校	土器づくり	8/1、10、24	
4	御坂町教委	古代生活体験※1	8/2	
5	玉穂学園	土器づくり	9/26、10/12、27	高齢者学級
6	笛南中学校	土器づくり	9/26、10/12、27	総合学習
7	春日居中学校	体験学習（コース別※2）	10/16、11/17、	総合学習
8	大塚小学校	土器づくり	1/18、23、30	総合学習
9	甲府養護学校	体験学習※3	3/5	

※1 火おこし、石器・土器を使って調理、土器・土偶づくり

※2 食生活、土器・土偶、火おこし、遺跡発掘、石器の5グループ

※3 土器・石器にさわってみる、縄文クッキーづくり



体験発掘（春日居中）



土器づくり（大塚小）

#### 4. 収蔵資料の貸し出し及び場観許可一覧

貸出許可平成12年度一覧

番号	貸出期間	申請者	利 用 目 的
1	4.1~H13.3.31	会生道斎	大泉村歴史民俗資料館に展示のため
2	4.1~H13.3.31	郊城地遺跡出土	明野村歴史文化財センターに展示のため
		土作土器2点	
		漆鉢形土器2点	
		三角とう土製品1点	
		石棒2点	
		石棒1点	
		丸石1点	
3	6.6~6.7	堀船塚出土 天神辻塚出土	鬼野町授業の教材に使用ため
		土作土器1点	
		石棒1点	
		石棒1点	
		石棒1点	
		土作土器1点	
		漆鉢形土器2点	
		ビン類2点	
		施錠環原石1点	
		鉄石1点	
		甲子原遺跡出土	
		漆鉢形土器1点	
4	8.24~10.31	金牛遺跡出土	川崎市立ミュージアム企画展「魂の夢」に展示のため
		中空土器1点	
		人面付十面1点	
		石棒1点	
		石劍1点	
		漆鉢形土製品1点	
5	7.18~9.24	天神道跡出土	新潟県環境生活部文化振興課 県立歴史博物館開館特別展「ジョウモネスクジャパン」に展示のため
6	6.20~7.19	一の沢跡出土	新潟県立歴史博物館 高岡城「山城の遺跡」に展示するため
		漆鉢形土器1点	
		漆鉢形土器1点	
		石棒2点	
		石棒1点	
		中良の皿3点	
		羽釜1点	
		ハネル一式	
		环(灯明皿)2点	
		环(灰袖陶器)2点	
		环(灰炉陶器)1点	
		环(墨青土器)3点	
		漆鉢陶器(波皿)1点	
		漆鉢陶器(波片)14点	
		石盤3点	
		石棒3点	
		ハネル一式	
		打銅石鑼1点	
		漆鉢石瓶1点	
		立石下遺跡出土	
		漆鉢形土器1点	

番号	提出期間	申 請 特 可 物 件 名	申 請 看	利 用 目 的
		立 4 下 遺 墓 出 土 打 钻 石 嵌 1 点 奈 良 二 形 1 点 坏 (痕 断 缺) 1 点 折 (土 壤 针) 1 点 バネル一式		
		燒 漆 迹 墓 山 土 漆 油 彩 土 器 (底 片) 4 点 浅 体 彩 土 器 (底 片) 10 点 石 碎 2 点 漆 器 2 点 石 碎 (黑 颗 石) 3 点 バネル一式		
		燒 3 点 片 口 1 点 土 壤 器 (毫) 1 点 高 环 1 点 盖 1 点 妨 钻 环 4 点 水 品 2 点 八 弦 4...式 高 环 2 点 沫 1 点 蓋 1 点 环 1 点 环 2 点 瓶 1 点 盖 1 点 上 罐 3 点 バネル一式		
		百 々 遺 墓 出 土 三 (L 帶 钻) 11 点 要 (土 壤 针) 2 点 甲 形 环 9 点 輪 台 环 1 点 錠 (土 壤 针) 1 点 小 漆 壶 1 点 引 钻 1 点 盖 1 点 手 把 上 器 1 点 灰 油 壶 盒 1 点 器 壶 1 点 大 瓶 (空 瓶) 1 点 神 力 遗 宝 1 点 石 带 1 点		

番号	出土期間	内々造 跡 出 土	申請 斧 可 物 件 名	申 請 番	利 用 目 的
		苔石 4 点 人骨腕 1 点 猪 2 点 铁 锤 1 点 切削器 1 点 骨头 1 点 铁锤点			
		牛馬の歯 2 点 牛馬の骨 1 点 黑色土器灰 1 点 黑色土器灰頭黑色柄 1 点 皿(燒毛器) 1 点 环(燒毛器) 2 点 灰陶器 1 点 灰陶器長颈壹 1 点 灰陶器腹圆 1 点 水瓶 1 点 繪陶器 23 点			
		ハネル一式 かわらけ 2 点 中世陶器 4 点 近世陶器 1 点 埴轮 2 点 小型かわらけ 5 点 古鏡 4 点 ハネル一式			
日 向町 遠藤川七		かわらけ 2 点 中世陶器 4 点 近世陶器 1 点 埴轮 2 点 小型かわらけ 3 点 古鏡 4 点 ハネル一式			
甲 府 城 跡 出	七	光瓦 1 点 柳枝瓦板瓦 1 点 窑盖 1 点			
保 振 家 田 駿 逸 彰 仲		ハネル一式 ハネル一式 ハネル一式 ハネル一式 ハネル一式			
		標針前久保道路			

番号	貸出期間	申請許可物件名	申請書類	利 用 目 的
7	8.2~9.1	大木戸遺跡出土 牡塗1点 环(刃物頭)2点 環(矢羽根)1点 环(轆轤)1点 环(轆轤)3点 轆轤陶器(轆轤)1点 轆轤陶器(轆轤)14点 バトル一式	軽調査遺跡特許類	高岡署「山梨の遺跡展」に展示するため
		立石下遺跡出土 打製石器1点 磨製石器1点 金鏡三形1点 环(矢羽根)1点 环(轆轤)9点 III 1点 高台环(須恵器)1点 高台环(土師器)1点 バトル一式 高环2点		
		土手木遺跡出土 钺1点 鍬1点 环2点 瓶1点 瓶1点 上馬3点 バトル一式		
		白々遺跡出土 III (土師器)11点 瓶(土師器)2点 甲斐形片9点 高台环1点 鍬(土師器)1点 小型甕1点 羽釜1点 瓶1点 灰陶陶器皿1点 馬糞土器1点 火薬1点 鍬2点 鉄鋤1点 箭1点 箭2点 鉄錐1点 箭筒1点		

番号	提出期間	申請許可物件名	申請者	利用目的
	日々	河内源磨出土・牛馬の像2点 黒色土器1点	黒色土器(甲斐型黒色环1点) 三(保惠器)1点 杯(復地器)2点	
		灰陶陶器長颈壶1点 灰陶陶器皿1点	灰陶陶器1点	
		水瓶1点	水瓶1点	
		輪胎陶器23点	輪胎陶器23点	
		ハネル一式	ハネル一式	
		かわらけ2点	かわらけ2点	
		中世陶磁器4点	中世陶磁器4点	
		近世陶磁器1点	近世陶磁器1点	
		煤焼器2点	煤焼器2点	
		かわらけ5点	かわらけ5点	
		小型かわらけ3点	小型かわらけ3点	
		古鏡4点	古鏡4点	
		ハネル一式	ハネル一式	
		かわらけ2点	かわらけ2点	
		中世陶磁器4点	中世陶磁器4点	
		近世陶磁器1点	近世陶磁器1点	
		煤焼器2点	煤焼器2点	
		かわらけ5点	かわらけ5点	
		小壺かわらけ3点	小壺かわらけ3点	
		古鏡4点	古鏡4点	
		ハネル一式	ハネル一式	
		兔瓦1点	兔瓦1点	
		精神性陶器1点	精神性陶器1点	
		留蓋1点	留蓋1点	
		ハネル一式	ハネル一式	
		甲府城跡出土	甲府城跡出土	
		保坂米原城跡出土	保坂米原城跡出土	
8	7.21~7.25	横堀造跡出土	白根町教育委員会	白根町教育委員会企画展「山梨の遺跡展」に展示するため
9	8.8~8.13	極部造跡出土	石器1点	山梨・平野のための歴史研究会
10	9.26~12.8	M69地盤3点	川篠半田のための歴史研究会	山梨・平野のための歴史研究会
11	12.1~13.3.31	神頃(E46)2点	川篠半田のための歴史研究会	山梨・平野のための歴史研究会
12	7.18~10.12	複数孔打削付土器1点 十箇10点	静岡市立博物館	静岡市立博物館「きょうのこはんなに」に展示するため
13	9.19~12.8	庄王2号埴出土 庄王2号埴出土 少室1点	文化庁 山梨県測量文化財センター 岩手県立博物館	文化庁「日本文物精華展」「日本文物精華展」へ出品するため
		銘文金具12点		岩手県立博物館「北の馬文化」に展示するため

番号	貸出期間	申 請 司 物 件 名	申 請 者	利 用 目 的
14	9.28~11.30	竈王 2 号頂出土 鉈尾 6 点 かんかん稼古墳出土 輪鏡 2 点 1 对 骨 1 点 三津珍	秋田県立博物館	第12回特別展「土偶一乘の女神に秘められた縄文の謎い—」に展示するため
15	10.5~10.16	甲 7 号遺跡出土 土偶 9 点 火 神 遺跡出土 土偶 1 点 安 通 失 遺跡出土 土偶 4 点 上 の 平 遺跡出土 土偶 9 点 海 通 前 C 遺跡出土 土偶 5 点 海 通 前 D 遺跡出土 土偶 13 点 海 通 前 E 遺跡出土 土偶 19 点 海 通 前 F 遺跡出土 土偶 9 点 海 通 前 G 遺跡出土 土偶 3 点 海 通 前 H 遺跡出土 土偶 17 点 海 通 前 I 遺跡出土 土偶 1 点 海 通 前 J 遺跡出土 土偶 6 点 海 通 前 K 遺跡出土 土偶 8 点 大 木 P 遺跡出土 土偶 1 点 中 谷 遺跡出土 土偶 1 点 中 谷 遺跡出土 黑瓦 2 点 中 谷 遺跡出土 輪鏡 5 件以 前瓦 1 点 前瓦 3 件 軒瓦 7 点 陶磁器 4 点 輪窓 2 点 石造物 1 点 臼 1 点 慶長一分金 1 点 慶長一分金バネル 1 点 研石 1 点 研管 1 点 研油 1 点 かわらけ 2 点 鍵形陶磁器 1 点 釘 1 点 古鐵 1 点 ワイン瓶 1 点 輪窓 2 点 人形付瓦 (後元品)	門脇市立美術館	中府ケイアーヴ「運きの祭典—中府城跡出土品特別展—」に展示のため
17	9.21~13.6.30	甲 7 号 遺 跡 山 土 輪窓 2 点 織見片 1 点 織子瓦 1 点 瓦瓦 1 点 軒瓦 1 点	岡ガ歷史民俗博物館・福岡市博物館・兵庫県立歴史博物館	巡回企画展「天守城—と城」に展示のため

番号	提出期間	申請許可物件名	申請者	利用目的
18	10.12~13.1.8	甲 所 墓 路 出 土 玉丸瓦1点 撫子・冢 古 増 出 土 漆形埴輪1点 大鰐豆耳杯 陶 壺 嵌出 土 漆形埴輪2点 大鰐東刀依壇塗出 土 土器7点	明治大学考古学博物館	明治大学考古学博物館「春から夏へ」に展示のため
19	11.4~11.5	官 制 田 墓 路 出 土 「化粧土器」1点	山梨県考古学会	2000年度研究会「古代の牧と考古学」に展示のため
20	1.10~3.30	天 仲 漆 路 出 土 漆錦形十咫1点 上の 平 道 路 出 土 漆錦形十咫1点 1.野原 漆 路 出 土 漆錦形十咫3点 甲 7 厚 道 塗 出 土 漆錦形土器1点 殿 林 漆 路 出 土 漆錦形土器1点 安 游 守 漆 路 出 土 有孔脚付土器1点 中 谷 通 漆 路 出 土 法口十咫1点 金 生 漆 路 出 土 土器1点	東京国立博物館	特別展「土器の変遷—縄文の軸」に展示のため
21	12.11~1.26	海 犬 前 C 道 塗 出 土 漆錦形土器6点 甲 7 厚 道 塗 出 土 漆錦形土器1点 横 松 重 塗 出 土 漆錦形土器1点 上 野 原 道 塗 出 土 漆錦形土器1点	平安堂藝術博物館	平安12年後々の特別展「縄文の蛇体藝術」に展示のため
22	H13.8.1~12.	上 の 平 道 塗 出 土 漆錦形土器1点	海外版英國ロンドン自然史博物館「神話美術」(日本)に展示のため	
23	2.16~2.20	安 道寺 道 塗 出 土 右孔脚付土器1点	東八代郡社会教育施設協議会	「平成12年度第八代郡社会教育施設協議会」に展示のため
24	4.2~6.29	筑 7. 塚 古 増 出 土 三色絞糸模範レプリカ1点 金 の 尾 道 塗 出 土 异生土器1点	山梨県中央金融資料館	中銀金融資料館「中銀金融資料館」に展示のため
25	H13.4~H14.4	化 烏 山 道 塗 出 土 黒理石製石鏡10点 安 游 守 墓 路 出 土 水蛭把・深鉢1点	東京国立博物館	平安期考古資料解説に活用のため

## 掲載許可平成12年度一覧

番号	申請日	申請者	新規扱立派史博物館設置表示資料として使用するため	用 目	申 請 物 件 名
1	3月23日	新潟県企画調整企画課	「文化探検クラブ」で、重要な説を多く「」に掲載のため	新潟県立歴史博物館出土・有形財物上器	安達寺跡出土・有形財物上器
2	5月16日	株式会社 山川出版社	等別屋店「きよら」の「はなわに?」ー登戻むらの味かい料理・再現ーに掲載のため	右角野付十格(複数)	宇都宮市立歴史博物館出土・有形財物上器
3	5月23日	柳原市立登戻博物館	企画展「鶴文の重宝展示回顧に軽観及し宣伝告知に使用のため	金生源断出土・土偶	金生源断出土・土偶
4	5月31日	川崎市市民ミュージアム	企画展「鶴文の重宝展示回顧に軽観及し宣伝告知に使用のため	筋状石彫・製品	筋状石彫・製品
5	6月 6日	株式会社 正進社	「小学館今日本史」に掲載のため	中伴遺跡出土・滑水木下鉄上器	中伴遺跡出土・滑水木下鉄上器
6	6月13日	株式会社 山川出版社	「文化探検クラブ」重火炎等を歩く「」に掲載のため	甲賀原遺跡出土・石皿と磨石	甲賀原遺跡出土・石皿と磨石
7	6月15日	新潟県立歴史博物館企画課	新潟県立歴史博物館企画展「ヨウセモスク・ジャバパン」展示回顧に掲載のため	甲賀原十記の丘・岩根丘陵公園 布空写真	甲賀原十記の丘・岩根丘陵公園 布空写真
8	6月21日	新潟県立歴史博物館企画課	新潟県立歴史博物館企画展「ヨウセモスク・ジャバパン」展示回顧に掲載のため	宇都宮市立歴史博物館企画展「ヨウセモスク・ジャバパン」展示回顧に掲載のため	宇都宮市立歴史博物館企画展「ヨウセモスク・ジャバパン」展示回顧に掲載のため
9	7月 5日	コンパック	別府窯の手帖「山米」に掲載のため	考古博物館 外観	考古博物館 外観
10	7月 7日	株式会社 吉川弘文館	「甲斐と山梨県内」に掲載のため	安山北斎遺跡出土・馬鹿山土器	安山北斎遺跡出土・馬鹿山土器
11	7月14日	新潟県立歴史博物館企画課	新潟県立歴史博物館企画展示に使用するため	院庭出土・深井形土器	院庭出土・深井形土器
12	7月19日	株式会社 漢社	「漢文の重宝」01巻「漢文の生活史」に掲載のため	猪俣原C遺跡出土・馬鹿山土器と石棒	猪俣原C遺跡出土・馬鹿山土器と石棒
13	7月21日	株式会社 吉川弘文館	「甲斐と山梨県内」に掲載のため	猪俣山古墳群・猪俣山古墳群	猪俣山古墳群・猪俣山古墳群
14	8月 8日	大月市教育委員会	小字3・4年生向け社会科教科本に掲載のため	甲府城跡出土・稻作五	甲府城跡出土・稻作五
15	8月15日	国立歴史民俗博物館	企画展示「天ト地ー」の図録等展示回路印刷物の裏面のため	甲府城跡出土・猪子五	甲府城跡出土・猪子五
16	8月25日	甲府市	甲府ウイーク地区ハシフレット及び印刷物後より月券に掲載のため	甲府城跡出土・金治館瓦瓦片	甲府城跡出土・金治館瓦瓦片
17	9月 7日	甲斐市	甲府ウイーク地区ハシフレット及び印刷物後より月券に掲載のため	甲府城跡出土・金治館瓦瓦片 2点	甲府城跡出土・金治館瓦瓦片 2点
18	9月13日	大月市立郷土館	第12回別冊「山岡一葉の死」に掲載のため	山梨県立歴史博物館出土・甲府出土馬頭	山梨県立歴史博物館出土・甲府出土馬頭
19	9月 20日	大月市立郷土館	山梨県考古学会「令和元年度研究会」古代の物と古占学「レジュメ」に掲載のため	日々酒造 1区18分10号山土・馬鹿出土状況	日々酒造 1区18分10号山土・馬鹿出土状況
20	10月 4日	新潟市教育委員会	文化財保護の小冊子に掲載のため	金子山古墳群出土・丸山東古墳群空谷瓦	金子山古墳群出土・丸山東古墳群空谷瓦
				金の尾遺跡 全景写真 2点	金の尾遺跡 全景写真 2点
				28号住跡	28号住跡

番号	申請日	申請者	申請書	利 用 目 的	申 請 物 件 名
21	10月16日	株式会社 講談社	「読とき山代日本列島」に掲載のため		令の瓦壺 39号付図版
22	10月26日	川越美術館資料課	東洋美術博物館出展 民衆像アラザ[川奈の道場]に展示するため		ト折衷陶器出土 磁土器 平安時代山土器 今井 平林2号墳出土 馬具
23	10月31日	石山町教育委員会	「日本の古代」での展示、スライド上映のため		中井織物 新昭和館新 布施風景 13点 村前東山遺跡 磁土器 55点
24	11月9日	大田区立郷土博物館	特別展「織がついた十景」展示用写真、ホルとして展示するため		一本柳(甲子ババス)遺跡 古墳風景 64点 一の沢遺跡出土 人面装付土器 二本柳(副室)遺跡 古墳風景 4点
25	11月23日	狭下町史編さん委	「狭下町史 通史」に掲載のため		金生遺跡 4号古墳出土 西古墳C遺跡出土 人面装付土器 金生遺跡 1号配石 金環 金生遺跡 石棺内部の発見と実施り
26	11月29日	入深企画制作事務所	「秀刊 海底鉱物25号」に掲載のため		船形遺跡出土 深谷形十器 橋野遺跡出土 上器の副部に別まれたカナと人
27	12月5日	新日本開拓出版社	「日経新日本」の現象―山器から赤木までに掲載のため		甲生遺跡出土 人面装付土器 甲生遺跡出土 公園 上野原遺跡出土 深谷形土器
28	12月7日	株式会社 アイドマ	「日経新日本」の現象―山器から赤木までに掲載のため		菅原小村遺跡出土 陶磁器 30点 飯倉山B記録出土 陶磁器 200点
29	12月10日	株式会社 明文出版	講談社「日の風」(12月号)掲載のため		円竹城跡 陶磁器 100点
30	12月20日	隣矢恒男	九州近畿歴史学会発表資料(山崎・長野における肥前陶磁の流通)(仮名)に掲載のため		安瀬山遺跡出土 深谷形土器
31	1月30日	国学院大學	WONDERS OF JAPANESE PREHISTORY: JOMON POTTERS AND THEIR LANDSCAPE 展示パネル資料として		金生遺跡出土 山側 1点
32	1月30日	大里村	大里村移行要覽に掲載のため		天神遺跡出土 上器 1点
33	2月6日	都留市博物館 ミュージアム都留	企画展「絵からわかる都内の城・館」展示パネルに掲載のため		長峰寺跡 陶空余瓦 2点
34	2月9日	人東村教育委員会	人東村歴史地質資料編図録 人東村の縄文時代(辰巳)に掲載のため		浅谷高原山中窯跡 3点 丘の公園遺跡出土 石器 ナツマンゾク美術大模型 天神遺跡出土 漢形土器 2点 天神遺跡出土 深谷形土器 6点 天神遺跡 今井写真 天神遺跡18号住居跡出土状況 天神遺跡22号「井戸」遺跡出土状況 天神遺跡出土 信州太鼓 天神遺跡25号住居跡出土四十五点出 天神遺跡出土 信州太鼓

番号	申請日	申請者	利 用 目 的	申 請 物 件 名
			天神遺跡出土 純朴土器 2点	天神遺跡出土 純朴土器 2点
			天神遺跡出土 石器 3点	天神遺跡出土 石器 3点
			天神遺跡出土 青銅 3点	天神遺跡出土 青銅 3点
			甲ツ原遺跡出土 写真	甲ツ原遺跡出土 写真
			中ツ原遺跡出土 7号土坑出土上漆鉢形土器5点	中ツ原遺跡出土 7号土坑出土上漆鉢形土器5点
			中ツ原遺跡出土 漆鉢 彩土器 3点	中ツ原遺跡出土 漆鉢 彩土器 3点
			中ツ原遺跡出土 1号埋甕 3点	中ツ原遺跡出土 1号埋甕 3点
			中ツ原遺跡 A-156号土坑出土十十器	中ツ原遺跡 A-156号土坑出土十十器
			天神遺跡 A-7 号住居跡発土状況	天神遺跡 A-7 号住居跡発土状況
			甲ツ原遺跡 A-1号方窓柱穴列	甲ツ原遺跡 A-1号方窓柱穴列
			金生遺跡11号丘陵断出土状況	金生遺跡11号丘陵断出土状況
			金生遺跡 1号石棺出土状況 3点	金生遺跡 1号石棺出土状況 3点
			金生遺跡 8号住居跡出土状況	金生遺跡 8号住居跡出土状況
			金生遺跡 1号配ノゾシ下腰骨	金生遺跡 1号配ノゾシ下腰骨
			金生遺跡 2号丘陵断出土状況 2点	金生遺跡 2号丘陵断出土状況 2点
			継了帳口押金章	継了帳口押金章
			甲ツ原遺跡出土 上漆圓筒形写真 16点	甲ツ原遺跡出土 上漆圓筒形写真 16点
			天神遺跡山土 土偶	天神遺跡山土 土偶
			小坂遺跡出土 土器	小坂遺跡出土 土器
			金生遺跡出土 小甕	金生遺跡出土 小甕
			金生遺跡出土 皿	金生遺跡出土 皿
			金生遺跡出土 銀鉢形土製品	金生遺跡出土 銀鉢形土製品
			金生遺跡出土 土瓶	金生遺跡出土 土瓶
			金生遺跡出土 石瓶	金生遺跡出土 石瓶
			金生遺跡出土 石劍	金生遺跡出土 石劍
			金生遺跡出土 石冠	金生遺跡出土 石冠
			金生遺跡出土 石皿	金生遺跡出土 石皿
			金生遺跡出土 石斧	金生遺跡出土 石斧
			玉剣	玉剣
			金生遺跡出土 耳飾	金生遺跡出土 耳飾
			金生遺跡出土 土偶	金生遺跡出土 土偶
			金生遺跡出土 中空土器	金生遺跡出土 中空土器
			天神遺跡出土 土器底面写真 2点	天神遺跡出土 土器底面写真 2点
			甲ツ原遺跡 A-3号十块出土物裏面写真	甲ツ原遺跡 A-3号十块出土物裏面写真
			金牛道跡出土 土器底面写真 9点	金牛道跡出土 土器底面写真 9点
			寺町遺跡出土 十字瓦	寺町遺跡出土 十字瓦
			金生遺跡 面石遺構	金生遺跡 面石遺構
			考古博物館式会社	考古博物館式会社
			高等學校用教科書理科統合Aに掲載のため	高等學校用教科書理科統合Aに掲載のため
			月刊「なごみ」4月号に掲載のため	月刊「なごみ」4月号に掲載のため
35	2月21日	東京書籍株式会社	「ビショニカルツイード回認日本史」に掲載のため	
36	2月22日	新教出版株式会社		
37	2月23日	淡交社 なごみ編集部		

番号	申請日	申 請 者	利 用 目 的	申 請 物 件 名
38	2月26日	長沢 宏昌	山梨県考古学会会員12号に掲載のため	金生還出土 イノシシ下顎骨
39	3月2日	山本育夫事務所	「まち見物送ラントアーチ8号」に掲載のため	花鳥山遺跡出土 コイ科骨 中房城跡出土 金箔付瓦 中房城跡出土 金箔付鏡瓦復元品
40	3月15日	東芝機械株式会社	社内報「time」内「お団子懐コローナー」に掲載のため	中房城跡出土 金箔付瓦 中房城跡出土 金箔付鏡瓦復元品 甲房城跡出土 滑織文軒丸瓦 甲房城跡出土 三巴文軒丸瓦 甲房城跡出土 五三柄文軒丸瓦 甲房城跡出土 五三柄文軒丸瓦 甲房城跡出土 鎌口一分金 甲房城跡出土 金箔付瓦復元品
41	3月16日	中浦重義 舞形市教育委員会	出酒斎作成の町令富士紙長紙に掲載のため	甲房城跡 石垣 甲房城跡 城門 甲房城跡出土 鏡瓦(実物) 甲房城跡出土 鏡瓦(復元品)
42	3月16日		「文化財マップ」に掲載のため	上野原遺跡出土 滑織形土器 村前東遺跡 開墾区全体写真 村前東遺跡 遺物出土状況写真
43	3月18日	京セラ興産株式会社	ホテル京セラ展示コーナー「關文遺跡ミュージアム」内に展示のため	氣賀町原遺跡出土 滑織形土器
44	3月20日	大阪府立立つ狹島博物館	近つ狭島博物館こども展示回顧「こんななぜなに?」CD-ROMに掲載のため	考古博物館 外観写真 中世風土記の丘・曾根丘陵公園 鏡子冢古墳出土 知輪
45	3月22日	中道町教育委員会	「立體なかみち」に掲載のため	上野原遺跡出土 滑織形土器

## 5. 所内研究グループ・各種検討会

### 縄文研究部会

当部会では、山梨県内出土の縄文土器の資料を収集し、早見表としての『山梨の縄文縫引き』の作成に取り組んできた。資料に関しては、前年度までにかなりの量を収集しており、新たに刊行された報告書等からの資料を加え、早見表に組み込むべく検討を行った。今年度は、「草創期・早期」（早期末は除く）編を作成し、当センター・各市町村職員を中心に配布した。

### 縄年研究部会

本部会では『県内における中期中葉の異系統土器群の出土例から在来系土器群との共伴関係を明らかにする』を今年度の研究テーマとして、まず出土例の模索と県内外の資料調査を実施してきた。今年は時間的な制約があつたため、目標を限定して北陸系の新崎式及び類似資料と、北信系とされる斜行沈縫文系土器群、南信系の平出Ⅲ類A土器群についてのみ実施し、分布と伴出関係からの時間的な広がりについて明らかにするに留まった。

### 古墳時代研究部会

当部会では、県内に所在する古墳についてデータ化し、順次それらをカード化する作業をおこなっている。今年度は、境川村と中道町の境周辺を中心で踏査を行った。特に市町村誌に記されている無名墳については、雑木に覆われその姿・基数を確認することが難しい。また、今年度は、確認作業が夏期に集中してしまい遺物等の表探はできなかった。今後は、確認済みの古墳についてのカード化作業の完成と、より多くの古墳を見ていくように努力していきたい。

### 考古教材研究部会

当部会は文化財主事として赴任してきた小・中・高等学校の教員7名と専門文化財主事2名の計9名で構成されている。今年度は昨年度と同様に発掘現場近隣の小中学校にパネル掲示を行い、普及・啓蒙活動を実践するとともに、県立考古博物館エントランスホールにも各遺跡の説明等を掲示した。また、武山氏館跡、姥塚古墳、駒追堂遺跡博物館など6箇所の史跡や博物館を見学し、実際にその立地や景観などを検討した。

### 実験考古学研究部会

本部会では、「須恵器の焼成実験」を今年度の研究テーマに設定し、活発に研究活動を続けてきた。まず、4月から11月までは、主に焼成実験を行うための壺の成形に当たった。猿投及び瀬戸産の陶土を用いて、砂粒の含有率が異なる壺を数種類成形し、後の焼成実験に備えた。次に、12月からは須恵器窯の復元に当たり、部会員が所有する山薺の畠地斜面を利用して幅1m、長さ2mほどの登り窯を築いた。構造材には篠竹と葦蓑を用いたが、燃焼部の焚口には補強のために煉瓦を使用した。本年中に空焚きを行い、窯の状態を確かめた上で本番の焼成実験を実施したいと考えている。

### 文化財保護行政研究会

昨年度発足した本研究会は10名の職員からなるが、今年度はその対象を埋蔵文化財に限らず文化財一般にまで広げ、より広く文化財保護に関する行政的な課題を検討することを目指して活動を行った。まず年度当初に各自で想定問題を考え総計30箇点の問題を作成、そのなかから選別して担当者および発表順序を決めた。以後、毎回1~2名が回答案を発表し、全員でその問題点を討議・検討した。扱った問題内容は多岐に亘るが、「遺跡不時発見時の対応方法」や「私有地出土遺物の所有・帰属権」といった埋蔵文化財保護に関する問題に加え、

「瀬戸ニホンカモシカの保護」や「古民家文化財指定の可能性」など、実際的かつ具体的で、解決が困難であると予想される様々な問題約10点を取り上げることができた。

#### 増設事業ワーキンググループの活動経緯

埋蔵文化財センターは平成14年で開所20周年を迎えるが、老朽化に加え、職員の増員、資料の増加があり、施設の増改築が必要とされているところである。このような現状を踏まえ、職場環境の改善点を集約し、埋蔵文化財センターとして改善点等を検討する機関としてワーキンググループを発足した。主な活動内容としては、他県の施設との比較やアンケートなどを行うことにより、新規施設の必要性を裏付ける基礎データを作成した。

ワーキンググループとしては、引き続きこれらの検討を積み上げていく予定である。

### 6. 第12、13回市町村埋蔵文化財専門職員研修会

今年度は、文化庁美術学芸課の齊藤孝正先生を講師として、前後2回に分けて研修を行った。「あなたにも解る灰釉陶器—高台の形の違いから灰釉陶器の窓式と年代を見分けるー」をテーマに、前期（第12回、平成12年8月31日）「猿投窯出土の灰釉・綠釉陶器碗・皿類の変遷」、後期（第13回、平成13年2月2日）「灰釉陶器の変遷（その2）一尾北窯・美濃窯ー」と題した講義と、遺物を持ち寄り実際に観察しながら意見を交換し合う形式の研修とした。

前期の内容は、猿投窯の遺物を中心に各窯式の特徴とその見方を高台部分の変化をおいながら資料を基に説明した後、各市町村から持ち込まれた遺物を実際に見ながらその特徴などの説明をいただいた。

後期の研修では尾北・美濃窯を中心に、前回の猿投窯と対比しながら詳細な見分け方などの講義を受け、その後遺物を見るを行った。遺物を観察した後、各市町村の遺跡担当者から質問を受け、その受け答えをしていただいた。

その結果として、県内出土の灰釉陶器は尾北・美濃窯のものが多く、高台部分の観察に重点を置き図で示しながら個々の遺物の調整や胎土にいたる説明等もしていただいた。

山梨県内においては、近年の発掘調査によって出土例の少なかった灰釉陶器もその数を増し、各担当者が抱えている整理・報告書作業に直接役立つ研修が行えたことは、今後の研修のあり方に一つの方法を提示するものと思われる。

### 7. 山梨の遺跡展 '2000

例年、当埋蔵文化財センターと市町村教育委員会で実施された発掘調査の成果を、年度末に「山梨の遺跡展」として発表・展示している。年度内に行われた発掘調査の成果の一部を、いち早く県民に紹介するもので、当センター主催で実施した。

年度内の開催は、平成13年3月17日から4月8日まで県立考古博物館の特別展示室を会場に、入場無料で行った。展示の内容は、①個別の遺跡の展示（当埋蔵文化財センター展示）、②市町村展示、③パネル展示、④新聞パネル展示の4種類の展示を行った。①では、桂野（土器類、石器類）、原町農業高校前（土器類、石器類）、久保田・道々茅木（土器類）、五反田（土器類）、百々4（土器類）、百々5（土器類）、鰐沢河岸跡（土器類、土製品類）の7遺跡の出土資料とパネル展示を行った。②では、藏原東久保遺跡（土偶）、寺前遺跡（土器類、金属製品類）、人坪遺跡（土器類、石製品類）、秋山氏館跡（陶磁器類）の各関係の教育委員会及び帝京大学山梨文化財研究所から出土遺物をお借りし、展示を行った。③では、甲府城の構造写真や遺跡の全体写真を用いた展示と資料普及課及び調査研究課の所内研究グループの一つである考古教材研究部会の活動内容をパネルにして紹介した。④では、本年度、埋蔵文化財や発掘調査について新聞に掲載された記事をパネルにして展示した。

今回の展示を通じて埋蔵文化財への理解、また郷土への歴史認識を深めていただくことができたと考えてい

る。

## 8. 遺跡調査発表会

県内で実施された発掘調査の内容を一般の方々に広く知っていただくため、山梨県考古学協会との共催で年2回の遺跡調査発表会を実施している。スライド写真を用いた口頭発表にコメントターをもうけるとともに、発表遺跡や県内で調査された遺跡の出土品・写真パネルの展示も合わせて行った。

平成12年度上半期遺跡調査発表会（平成12年10月28日（土）於：山梨英和短期大学 参加者数約130名）

### 1. 御坂町「桂野遺跡」

（御坂町教育委員会 望月和幸）

縄文時代中期の集落跡。住居跡・墓と思われる竪穴・石が並べられた施設・多数の土偶が出土した。

### 2. 長坂町「原町農業高校前遺跡」

（当センター 山下大輔）

聚穴住居跡4軒・土坑約50基。古墳時代の火災住居跡から家の骨格をなす重木や編み物状のもの出土。

### 3. 甲府市「大坪遺跡」

（帝京大学山梨文化財研究所 棚原功一）

6世紀から10世紀前半の遺跡で、建築部材・木製容器類・装身具類・祭祀具・札類・水車等が出土。

### 4. 甲府市「久保田・道々芽木遺跡」

（当センター 森原明廣）

弥生時代後期から平安時代までの遺跡。平安時代の住居跡からは、県内初の金銅製の鏡前的一部分が出土。

平成12年度下半期遺跡調査発表会（平成13年3月17日（土）於：帝京大学山梨文化財研究所 参加者数約90名）

報告 「本年度の山梨県内埋蔵文化財の調査と保護」（山梨県教育庁学術文化財課 高野玄明）

今年度の県内の発掘調査件数は2月の段階で試掘調査を含め192件を数える。その中で特に注目された事例報告および保存問題等について報告された。

### 1. 明野村「寺前遺跡」

（明野村教育委員会 川道 亨）

縄文時代前期中葉から中期後半・平安時代の集落跡および中・近世にわたる遺跡の報告。

### 2. 高根町「藏原東久保遺跡」

（高根町教育委員会 雨宮正樹）

縄文時代の集落遺跡で、一軒の住居から5点の土偶が出土し、その内2点は壺を抱える土偶である。

### 3. 八代町「夜長遺跡」

（八代町教育委員会 志鷹規恵）

平安時代の集落跡で、灰釉陶器の皿が完形品で出土。また大形の縁付陶器等も出土し、貴重な資料を得た。

### 4. 白根町「百々遺跡」

（当センター 今福利恵）

平安時代の土坑からは、鍋を被った特殊な事例の他、特に珍しい銅製の分銅が発見された。

## 9. 国際協力専門技術員派遣事業

山梨県埋蔵文化財センターでは、2000年7月から2001年2月の8ヶ月間、中華人民共和国の四川省の四川大学から龐丁氏を自治体職員協力交流研修員として迎えた。

専門研修として(1)日本における埋蔵文化財の保護行政のシステム、(2)文化財の保存技術、(3)博物館の展示についての3点である。

県・市・町・村の文化財保護の現状を当該自治体の専門職員から直接に聞き取りを行い、その内容について調査レポートをまとめる。特に日本における文化財保護の補助金制度に関して、その重要性に注目している。また、市町村教育委員会の文化財保護施設の充実及び文化財の普及教育事業にも注目している（具体例として明野村埋蔵文化財センター・組合立の糸迦堂遺跡博物館）。

保存技術では、帝京大学山梨文化財研究所をはじめ東京・奈良国立文化財研究所、元興寺文化財研究所、東京芸術大学などを見学し、各種の出土遺物の保存技術に触れている。中国揚子江流域の発掘調査で出土する大量の木器・漆器の存在から、それらの保存技術に关心があり、保存関係の文献資料を収集する。なお、四川大学において将来文化財保存の講座を開設したいとの希望を述べている。

博物館展示では、コンピュータ・グラフィックスを駆使した解説や、遺跡の再現などのテレビ放送の利用に

注目し、「メディア」に重要性を見いだしている。一方、博物館の学芸員の不足、専門職の未分化、資料保管スペースの不足、予算不足などを指摘している。レポートには「中国四川省は今、新しい省立博物館、成都市市立博物館、四川大学博物館を建てている。先進国の博物館展示の仕方や博物館の運営など中國側として重要な参考資料となった。今や、「メディア」の影響、「デジタル革命」が地球的規模で、産業や芸術や科学などの社会全体に一大変革をもたらしつつある。その影響は当然のことながら、博物館の分野においても不可避であるといえる。「21世紀の博物館の展示は何か?」を私は今後も考えていきたい。」とある。

## 10. 所内研修

2000年度の所内研修は、資料書及課が所内での共通認識を保てるための研修設定を行い、全体で討論できる方向で行った。その方法として、数回にわたりアンケートを実施し、その中から特に共通認識が必要な項目について討論形式で月に1度実施した。中でも第2回のアンケート「平安時代の堅穴住居跡の発掘調査から何がわかるのか」については、今後の研修資料の中心をなすに十分なアンケートであった。

- 4月28日 平安時代の住居の発掘調査におけるベルト設定の方法。
- 5月31日 平安時代の「かまと」における祭祀の有無について
- 6月30日 「かまと」の形態とその使用法について
- 7月31日 平安時代の「かまと」の調査について、その問題点と事例  
「かまと」について、3回にわたりて研修会を行った。その結果、「かまと」の調査方法は様々でありその調査方法は統一できないであろう」という結論に至った。そこでどのような調査が最低限必要であるのか、また報告書の記載事項で活用できる内容整備が求められているのではないかとの観点に立ち、発掘調査においてはその場で柔軟に対応できる姿勢と、調査内容を生かすことのできる知識を持つことが重要なのではないかに至った。今回の研修は、問題点・理解の仕方をまとめた内容で行った。
- 8月31日 第12回市町村埋蔵文化財専門職員研修会 (講師 文化庁:齊藤孝正)  
(猿投窯出土の灰釉・綠釉陶器碗・皿類の変遷)
- 9月29日 中国四川省文物展の遺物・歴史について (講師 小柳美樹)  
蘆丁氏による、スライドを交えた四川省の講義 (講師 蘆丁)  
中国四川省展にむけた研修・講義を実施した。
- 10月31日 自然科学分析の活用法(第1回)  
今までの調査で、どのような自然科学分析を行ってきたか、そしてどのような結果が得られたのかを把握し、今後の調査でよりよい自然科学分析を実践することに主眼をおいた。
- 11月29日 自然科学分析の活用法(第2回)
- 12月27日 文化庁から示された「積算基準について」 (県学術文化財課:高野玄明)
- 2月2日 第13回市町村埋蔵文化財専門職員研修会 (講師 文化庁:齊藤孝正)  
(灰釉陶器の変遷(その2) 尾北・美濃窯について)
- 2月28日 各研究部会の成果発表

## 11. 寄贈・購入図書

平成12年度の登録図書数は約8,500冊である。その内容は、全国各県・市町村教育委員会などから送られてくる発掘調査報告書・年報・研究紀要や博物館・資料館などの企画展・常設展示図録、大塚所長からの寄贈、業務に係る考古学・歴史書・学術雑誌の購入などからなる。昨年までの蔵書数は約64,000冊で、今年度分を足すと約72,500冊となる。昨年同様、来所された方々や職員に幅広く活用されているが、増大する蔵書に対する収納スペースが不足しつつある。

## II 各遺跡の発掘調査概要

### 1. 百々遺跡 4

所在地 中巨摩郡白根町百々地内  
事業名 一般国道52号改築（甲西バイパス）  
中部横断自動車道建設  
調査期間 平成12年5月9日から12月27日  
調査面積 8,720m<sup>2</sup>  
担当者 今福利恵、勝俣 透



甲府盆地西部の御勒使川扇状地上で、標高335m前後に立地している。平成11年から調査が行われ、遺跡の調査範囲は南北で約900m、幅約45mにわたっている。本年度調査を行ったのは昨年度調査したところに並行して隣接する西側部分にあたり、都合上調査区を二分割して、北側を百々遺跡4地区、南側を5地区とした。

今回の調査では昨年に引き続き9世紀から10世紀代を中心とする平安時代の集落のほか、中世鎌倉時代のものさらに下層部より弥生時代および古墳時代の土器がみつかった。遺構は平安時代の堅穴住居跡40軒の他、堅穴造構、溝状造構、配石造構、土坑やピット等が検出されている。堅穴住居跡では遺存状況が比較的良いものが多く、うち一軒では屋根材が焼失して住居内に落ち込んでいたものがある。当時の住居の上屋構造を考える上でも貴重な資料である。住居に付設するカマドも焚き口から煙道先端までその構造がわかるものが多く、一軒の住居で二ヶ所以上付設するものもみられた。また平安時代の墓と思われる土坑も数基あり、鍋被り葬といった特殊な事例もみられる。遺物では平安時代の土器が住居跡などから見つかっているほか、灰釉陶器、綠釉陶器、須恵器などがある。さらに溝や配石造構から中世の土器、陶磁器が出土している。また、遺跡の下層約1mにおいて弥生時代前期の土器が數十点検出されているが、広がりはせまい。金属製品では刀子や鎌といったものがあるほか鉄鏹と思われるものがみつかった。また、鉄を精錬するなどの鉄滓が調査区内に散在しているが、製鉄に関わる遺構はみつかっていない。自然遺物では牛馬の骨が数体、土坑や溝、住居跡の中から検出されている。特殊なものとしては、平安時代では特に珍しい銅製の分銅が土坑内よりみつかった。この分銅は竿はかりに使う鍤で、重量59.9gあり、全国的にも出土例の少ないものである。

百々遺跡は平安時代の集落としては県内屈指の規模を持ち、昨年からの調査による成果をあわせてみても甲府盆地西部を代表する大きな集落であり、その勢力は中央政府とも結びついている可能性もある。直接古代の文献資料と結びつくものはみつかっていないが、「和名抄—巨麻郡等力郷」「続日本後紀—巨麻郡馬相野空閑地」さらに「八田御牧」に関連するものと思われる。甲府盆地西部の古代史を考える上で、その歴史的重要性は高いものと評価される。



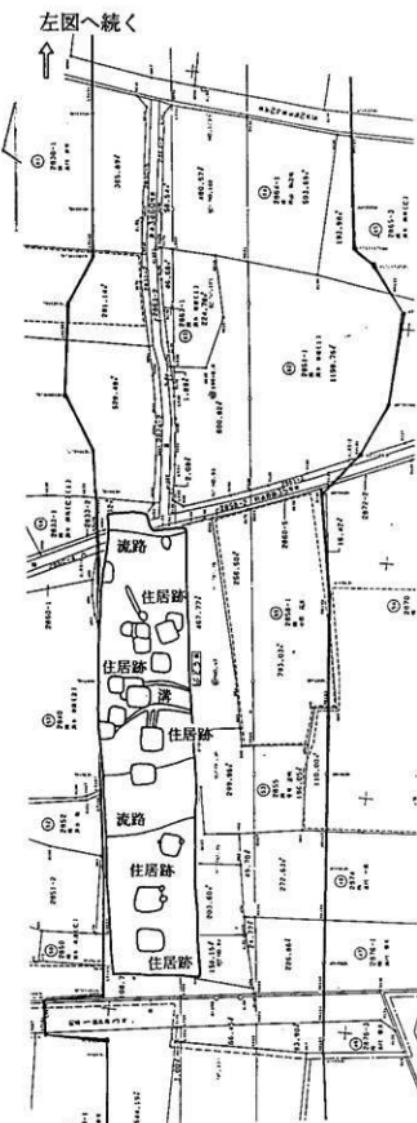
銅製の鍤



屋根材が落ちた住居跡（9世紀後半）



右図へ続く



全体図 1 / 1000

## 2. 百々遺跡5

所在地 中巨摩郡白根町百々地内  
事業名 一般国道52号（甲西バイパス）改築・  
中部横断自動車道建設  
調査期間 2000年6月5日から12月22日  
調査面積 8,720m<sup>2</sup>  
担当者 依田幸浩・田中宗博



百々遺跡5 位置図

百々遺跡5（以下、百々5）は、昨年度から実施されている百々遺跡の5つ目の調査区である。百々遺跡は、中部横断自動車道及び甲西バイパス関連の試掘調査によって発見された、甲府盆地西部の御動使川扇状地扇尖部の標高335m付近に位置する遺跡である。遺跡の範囲が路線上の南北約800mにも及んでいるため、調査区を複数に分けて昨年度から今年度にかけて調査を行ってきた。昨年度は道路の上り車線部分（静岡方面に向かう車線）である東側半分を百々遺跡1～3として調査を行い、平安時代中頃（9世紀後半～10世紀前半）を中心とした堅穴住居跡が約200軒発見された。今年度は下り車線部分である西側半分を百々遺跡4・5として調査した。百々5は百々遺跡の今年度調査対象区域のうち南側半分にある。調査の便宜上、百々5の中で南側から1～3区を設定した。

遺跡の一一番南側にあたる1区からは、調査区全域にわたり畝状（うねじょう）遺構が発見された。この畝状遺構は、東西にのびる一群と南北にのびる一群とに分けられる。これらの畝はお互いに重なることなく分かれ分布していることから、畝の区画があったことを窺わせる。住居跡は、昨年既に半分調査を行った1軒（平安時代）だけが発見された。

2区からは、平安時代の住居跡が4軒発見された。昨年度にはこの2区の東側を調査したところ20軒の住居跡が発見されていることを考えると、予想外に少ない軒数に留まった。また、1区と同様に全域にわたって畝状遺構が発見された。2区の畝状遺構は全体的に南北にのびる一群によって構成されていたが、一部では東西にのびるものと交差し、格子目状に検出された部分もあった。

3区からは、平安時代の住居跡17軒、掘立柱建物跡3棟、畝状遺構などが発見された。1・2区に比べると住居の数が急増し、掘立柱建物跡などの遺構も見られ、集落の中心地に近づいて来たことを窺わせる。特に3区4号住居跡は1辺が5m以上もある巨大な住居で、カマドが北壁と南東コーナーの2カ所に築かれていた。住居の中からは大量の焼土、炭、土器などが検出され、住居が廃棄される段階にも何らかの形で機能していたことが考えられる。3区ではこれらの住居が集中して築かれている調査区中心部には畝状遺構は見られず、調査区の北端と南端に分布する傾向にあった。

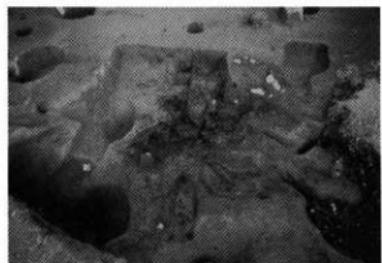
2年間の発掘調査を通して広範な遺跡の状況が徐々に明らかになってきた。百々遺跡周辺は御動使川の氾濫にさらされ続けた地域ではあるが、中世以前には比較的安定した地盤を保ち、長期間の集落形成を可能にした。平安時代の住居跡は遺跡を北上するにつれて増加する傾向にあり、当該期の集落の中心地が遺跡の北側にあったことが推測できる。我々が調査を行った遺跡南側では住居はあまり確認されず、畝地の形跡である畝状遺構が広範囲にわたって確認された。当初、この畝状遺構は中世のものと考えていたが、平安時代の住居跡に切られている部分がいくつか確認されたことから、平安時代以前の遺構と考えた方が良さそうである。また、1区の試掘溝からは古墳時代前期のS字状口縁台付甕が数個体分まとまって出土したことからも、平安時代以前にこの地域に生活していた人々の痕跡を見ることができる。の中でも、特に平安時代中頃における集落はその規模、または内容からこの地域における重要な拠点であったと考えられる。



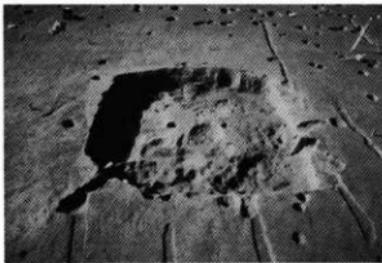
百々遺跡5 2区 欠状遺構



百々遺跡5 2区 2号住居跡カマド検出状況



百々遺跡5 3区 住居跡（焼失住居）



百々遺跡5 3区 4号住居跡完掘状況



百々遺跡5 3区 掘建柱建物跡検出状況



八田小学校発掘体験学習

### 3. 鍋沢河岸跡

所在地 南巨摩郡鍋沢町白子明神地区（鍋沢町1374-5外）

事業名 宅地等水防災対策工事（鍋沢河岸跡A）

一般国道52号改築工事（鍋沢河岸跡B）

調査期間 A：2000年9月8日～2001年2月28日

B：2000年10月2日～2001年2月15日

調査面積 A：5410m<sup>2</sup>（1面；3110m<sup>2</sup>、2面；2300m<sup>2</sup>）

B：2325m<sup>2</sup>（1165m<sup>2</sup>×2面）

担当者 A：小林稔・村石真澄

B：野代恵子・網倉邦生



鍋沢河岸跡 位置図

甲府盆地を代表する釜無川と笛吹川の合流点から南に鍋沢河

岸跡は立地し、この地は甲府盆地の東西陸路の結節点である。「鍋沢河岸」は江戸時代に開かれた富士川舟運の船着き場であり、青柳河岸・黒沢河岸とともに三河岸と呼ばれた河岸のひとつである。この鍋沢河岸跡の発掘調査は、既に1996年に当理蔵文化財センターにより一部実施され、「御蔵台（年貢米蔵）」に伴う荷積台跡などが検出されている。鍋沢河岸跡は御蔵台を中心に発展した河岸問屋・舟宿などの街並みを含んだ一連の遺跡ではあるが、今年度は事業ごと分割して調査にあった。

#### 鍋沢河岸跡A（宅地等水防災対策地区）概要

進入路などの確保のため南側の1区と北側の2区に分割して調査を行なった。1区南半部では蔵造建物基礎とこれに伴う高さ約2mの埋没石垣や石垣で補強された堀を検出した。1区北半部では明治期のものと推定される厚さ2～3mの大規模な盛土造成堆積層があり、この下から幕末期の敷地区画の石垣や建物基礎を発見した。

注目されるのは、盛土造成作業の際に意図的に木葉や草類を燃焼させたと考えられる厚さ2～3cm程度の焼土・炭化粒層が認められ、ていねいに造成工事を進めていることが判ったことである。また溢流洪水の痕跡である細砂層や、砂礫層からなる洪水堆積層が数層認められ、たびたび洪水の被害を被っていることも確認された。これらの他には、井戸・石垣で補強された堀・板材を組んだ方形のトイレなどが検出されている。

石垣の中には、最近まで使用されていた石垣の下部に直接連続する古い埋没石垣や、上部の石垣と交差するように築かれている埋没石垣があり、慎重な掘り下げ調査が必要であった。蔵建物跡などでは扁平な円形の巨礫を並べた礫石やその基礎には何度も突き壓められた版築状の地盤が認められている。

主な出土遺物には、甲州金毫分判1・南鎌二朱銀1・寛永通宝・天保通宝など銭約400点の貨幣、江戸時代～明治時代～大正昭和時代の陶磁器、灯明皿、ひょうそく、紅皿、泥めんこ、土人形、赤瓦片などがある。

この鍋沢河岸跡ではたびたび洪水に襲われても、船着場と関わって商売を営んでいるため、この地に店舗や



鍋沢河岸跡A 1区：幕末期敷地区画



鍋沢河岸跡A 2区：埋没石垣

住居を構える必要があった。そこで動力機械がない時代にあっても競い合って大規模な盛土造成を行ない、これを保護するために石垣を築いていることが明らかになった。確認された最も下部にある石垣は現地表下約5m（標高241.8m）にあり、予想を遥かに超えて、街並が幾重にも重なり合って深く埋没していることが判明した。これは鰐沢河岸跡が江戸時代から現在に至るまでの山梨県の物流経済の歴史を考える上で、重要なものであることを示すものと言えよう。

#### 鰐沢河岸跡B（一般国道52号改修地区）概要

今回の調査区は、鰐沢河岸の中心的施設である御蔵台に伴うカマボコ状の荷積み台やそれらを囲む柵の一部などが発見された1996年度の調査区から北西側に南川を挟んだ、やや北方向に位置する。

遺跡からは江戸時代～昭和初期にかけての遺構・遺物が発見されており、調査はⅠ面（大正～昭和初期）、Ⅱ・Ⅲ面（江戸時代～明治時代）という面ごとに行なった。なお、特にⅡ・Ⅲ面については時期が近接していることと、土地区画・土地利用の傾向が変わっていないため、過去に構築された石積みなどの施設を継続的に使用したり、拡張して使用しているものが多く、層位的に時期を明確に分けることはできない。その他にも、地表下には洪水砂の互層が見られ、現地が度重なる水害に見舞われていた事を物語っている。

Ⅰ面ではⅡ・Ⅲ面時に使用されていた土地区画の石垣を利用した土盛や井戸、石垣を伴った排水施設、コンクリート製の大形の流し台を設置した水場などが発見されている。また、一部には草などが生い茂っていた痕跡がみられる場所もあり、当時は部分的に湿地もみられる環境だったと考えられる。この他、随所で薬ビンなどの医療廃棄物がまとまって見つかっている。

Ⅱ・Ⅲ面では、家屋に伴っていたものと考えられる庭の植え込みなどを区画するための石列（花壇のようなものか？）や、石段を付設した高さ3mほどの石垣、火を焚いた炉の跡や底面にも石を敷いた石垣溝などが発見されている。このうち高さ3mほどの石垣を境にして南側には石垣などは全く見られず、調査区の最南端あたり、御蔵台の最北限にあたる場所では東西方向に延びる石垣溝や、先端部を尖らせた直径20cmほどの杭列の他、丸太を縦横に渡しその上に一抱えほどもある石を並べた暗渠のような施設と考えられる構造物が確認されている。このように、高さ3mの石垣を境にしてこれより北側では、土地区画の石垣など、家屋に伴っていたと思われる施設が発見されているのに対し、この石垣以前では様相が全く異なっており、御蔵台の最北限にあたる場所では石垣溝・杭列など、御蔵台が機能していた時代からの境界を示す可能性のある遺構が確認されている。

出土遺物としては江戸時代の染付磁器や陶器、明治時代の型紙摺り・銅版転写による磁器の他、特記される遺物としては、きつね・虚無僧・鳥・だるまなどの泥面、鳥の土人形、石板・石筆などの筆記具類や寛永通宝・文久通宝・十錢・一錢などの貨幣、おはじき、陶器製の湯たんぽ、銅製のかんざしなどがある。

今後、御蔵台の範囲に含まれる、より南側の調査が行なわれていけば、鰐沢河岸の中心施設の様相についてさらに明らかになっていくことであろう。



鰐沢河岸跡B：花壇状の石列（II面）



鰐沢河岸跡B：石段を付設した石垣（II～III面）

#### 4. 久保田・道々芽木遺跡

所在地 甲府市横根町875番地ほか

事業名 西関東自動車連絡道路建設

調査期間 平成12年4月20日～平成12年10月30日

調査面積 3,000m<sup>2</sup>

担当者 浅川一郎・森原明廣

久保田・道々芽木遺跡は甲府盆地の北部、笛吹川の一支流である十郎川右岸に位置する。本遺跡の発掘調査は山梨県土木部による「西関東自動車連絡道路」の建設に先立つものであり、平成11年度内に実施された「道々芽木遺跡」の調査に続く2年度目の調査となる。なお、遺跡名称については調査開始時には「久保田遺跡」および「道々芽木遺跡」の2遺跡と認識していたが、調査の結果から同一の遺跡と考えるべきであることが判明したため、「久保田・道々芽木遺跡」として報告することとした。

本遺跡の周辺には、国内有数の積石塚古墳群として知られる「横根・桜井積石塚古墳群」、白鳳時代の小金銅仏が出土した「東畠B遺跡」、寺本庵寺（春日居町）や甲斐国分寺（一宮町）に供給する瓦を焼成した「川田瓦窯・上土器瓦窯」、奈良・平安時代の土器生産遺跡である「大坪遺跡」など県内有数の重要な遺跡が数多く存在しており、昨年度までの調査においても弥生時代後期～平安時代にかけての土坑・溝などの遺構が夥しい量の遺物とともに検出されている。

今年度の発掘調査により確認された遺構・遺物は下記のとおりである。

弥生時代後期については、溝や土坑が検出された。11号溝は半円形の平面形であり、「円形周溝墓」の周溝部分である可能性もあるものであり、出土した土器には東海地域や信州地域からの影響が見受けられるものも含まれている。

古墳時代前期については、土坑や溝などのほか凹地状の地点に大量の土器が集中する土器集中区（Z-H-30土器集中、Z-32土器集中など）が複数箇所検出された。出土した土器には「S字状口縁台付壺」や「パレススタイル壺」などの東海系資料が豊富に含まれており、当該期の土器様相が不明確であった甲府盆地北部地域に新資料をもたらすこととなった。特に「S字状口縁台付壺」には「△頸」と呼称される古相を示す資料が多く含まれている特色がある。

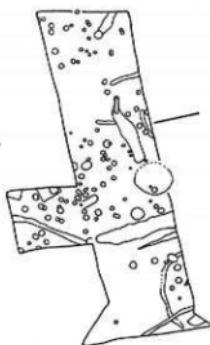
古墳時代後期については、堅穴住居跡は検出されなかったものの、該期の土器を多く包含する溝や土坑が検出されており、本遺跡の近接地に「横根・桜井積石塚古墳群」と同時期の集落等が存在する可能性を示すものと考えられる。

白鳳期～奈良時代については土坑がわずかに検出されたほか、磚や布目瓦が出土している。磚や布目瓦は本遺跡の付近に所在する川田瓦窯や上土器瓦窯で焼成されたものである可能性が高い資料であるが、出土量はごく僅かであることから、本遺跡に瓦を用いた該期の建築物が存在した可能性は低い。

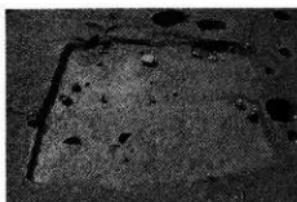
平安時代については、土坑や溝のほか堅穴住居跡8棟などが検出された。時期的には9世紀中葉～10世紀後半であり、9世紀中葉が中心的な時期となる。なお、この時期の特筆される遺物としては、10世紀後半に帰属すると考えられる第5号堅穴住居跡の貯藏穴覆上から発見された「金銅製海老鋸」が挙げられる。この海老鋸は鍍金の施された金銅製で昆虫状の装飾が施された優品であり、国内では平安京（京都府）や藤原國府（鹿児島県）などに類例を求めることができるものである。この遺物の出土は本遺跡の付近に何らかの公的な施設あるいは寺院等が存在した可能性を示唆するものであるが、明確な答えは現在のところ得られていない。今後の整理調査の過程でその可能性を模索することとなる。



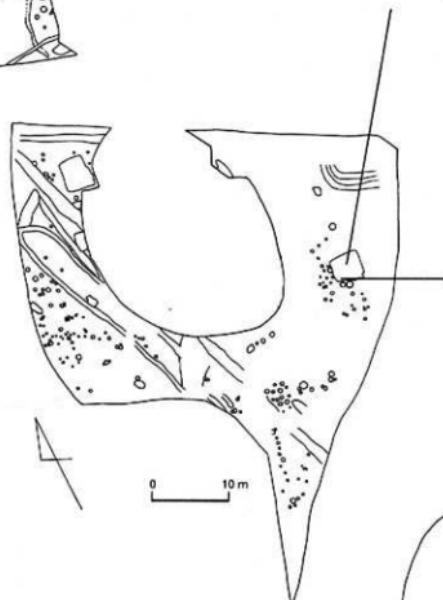
久保田・道々芽木遺跡 位置図



道々芽木遺跡出土諸瓦



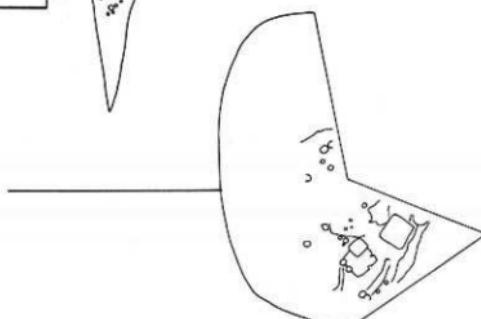
久保田遺跡第5号住居



久保田遺跡第5号住居出土  
「海老鉢」



久保田遺跡2区調査風景



久保田・道々芽木遺跡 全体図

## 5. 五反田遺跡

所在地 塩山市熊野439外

事業名 塩山東バイパス建設

調査期間 平成12年5月29日～10月6日

調査面積 2,800m<sup>2</sup>

担当者 古屋勝之・吉岡弘樹

遺跡は、市内を南に流下する重川右岸の扇状地上（標高約375m）に位置している。当地点より北方を望むと標高552mの塙ノ山が市街地を凝視している様子が良く分かる。

熊野地区周辺には、昭和53年に調査された古墳時代としては県内最大級の集落跡とされる西田遺跡や平成10・11年の2ヶ年

に渡って調査され縄文時代前期および平安時代の住居跡が検出された大木戸遺跡をはじめとして多くの遺跡が密に分布している。

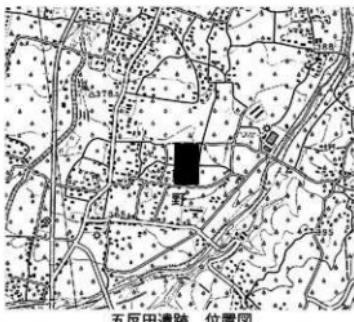
発掘調査は、平成10年度の試掘調査結果から路線内の長さ約175m、幅約16m、面積約2,800m<sup>2</sup>分について実施されることになった。

約5ヶ月間の調査結果、古墳時代前期住居跡7軒、平安時代住居跡8軒、土坑13基、溝4条が検出された。遺構検出面の状況は遺跡地南方より北側に向かうにつれ安定しているようであったが、重川やそれに注ぐ小支流の影響が少なからず各所に感じられた。基本的に各時代の遺構は共に砂質土層を掘り込んで構築されていた。また、果樹経営に伴って生じた不要物を廃棄した多くの攪乱坑や埋設物が縦横に走り、これらが遺構プラン確認の大きな障害となったことを付け加えておく。

古墳時代前期の住居跡は、調査区の南側に集中する傾向を見せる。それぞれ、確認面から30～40cmの壁高を測り、中央よりやや離れた位置に炉を有するものもみられた。遺物は主として壁付近の床面直上から検出されるものが多い。器種は甕・高壺・瓶・器台など多種に渡り、セット関係が明確に把握できるものもみられた。

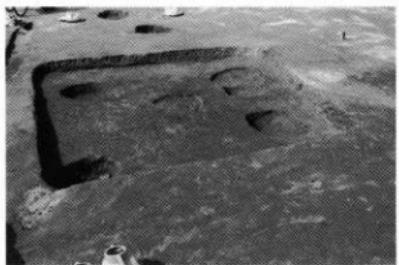


調査区全景



平安時代住居跡は、調査区中ほどに分布がみられる。いずれの住居も北東方向に主軸を取っている。また、竈の設置個所も北一北東方向となって廃絶時の儀礼によってか、そのほとんどが破壊された状態で検出された。これらの事実は同一の基準を基として集落が構成されていたことを裏付けているのではないだろうか。

塩山市内においての当該期の資料は比較的多いものであるが、地域間の空白を埋める貴重な成果のひとつと考えられよう。



古墳時代住居跡 1



同出土遺物



古墳時代住居跡 2



同出土遺物



平安時代住居跡 1



平安時代住居跡 2



調査風景 1



調査風景 2

## 6. 桂野遺跡（第4次調査）

所在地 東八代郡御坂町上黒駒字桂野  
事業名 国道137号線上黒駒バイパス建設  
調査期間 2000年9月5日～12月12日  
調査面積 3,000m<sup>2</sup>  
担当者 保坂康夫・楠間美季江

桂野遺跡は、東八代郡御坂町上黒駒に所在する。甲府盆地の南縁部に東西に連なる御坂山地の中央部で、甲府盆地側に突き出た大堀山の南斜面の甲府国際ゴルフ場のある地域から流れでた岩石類が堆積して出来た扇状地を、金川が開析してできた段丘の崖線の肩で、南東側に傾斜する緩斜面上に遺跡が立地する。

標高530mと高く、甲府盆地の眺望がきく地点でもある。今回調査した地点は、南側に小河川があり地形が区切られたかたちになっているが、ちょうどそこは平成8年から調査が継続してきた広大な桂野遺跡の南縁部にある。国道137号線上黒駒バイパスに第2農免道路が接続する交差点部分の工事に関わる発掘調査である。

出土した遺構は、縄文時代の住居跡4軒（縄文時代前期後半1軒、中期初頭3軒）、土坑44基、集石20基である。前期後半は諸磯b式期、中期初頭は五領ヶ台式期の前半段階である。土坑や集石も大半が五領ヶ台式期のものである。五領ヶ台式期の住居跡は、長径6m、短径3mほどの長楕円形の平面プランを呈する。埋甕炉を2～5基と複数持つ、小柱穴が多数見られ、数回の建て替えが行なわれた可能性がある。土坑は底面が広がる袋状土坑と寸胴のものとが見られた。土坑内の遺物の状況を見ると、土器の縦半分を割り取って土坑中央に立てて埋設したもの、小礫や土器片、剥片などを覆土中央部に多量に含むもの、確認面付近に焼土を伴うもの、底面に焼土を伴うものなど、さまざま在り方を示す。

集石は大半が土坑を伴い、底面に敷石が伴うものが見られる。敷石は中央に大型の平石を置き周囲に角柱状の角礫を放射状に配置した花弁の構造を持つものや、直径20cm程度の平たい礫を平坦に敷き並べたものなどがある。土坑との関係を見ると、土坑の全体に礫が充填されているもの、上半分のみに礫が分布するもの、袋状の土坑が埋積した後に上部を利用しているものなどがある。土坑も浅いもの深いもの両者が見られる。礫は拳大から人頭大の花崗岩を100～600個集積したもので、大半が焼けしており、スヌ状やタール状の黒色付着物がみられるものもある。また、高温で焼いたために岩石中の鉱物が溶融している礫もみられた。

集落構造をみると、調査地区中央部の集落の高所には土坑と集石が团塊状に集中し、北側に集石が多く集まり、南側に土坑がまとまっていた。集石は、それぞれの境界が不明確になるほど互いに近接し、その周間に花弁状の角礫が分散分布する区域もあり、あたかも礫広場の様相を呈する。集石の礫の総数は5,000点に達するが、この部分では耕作土中からもかなりの数の礫が出土しており、一部で擾乱も受けていることから、本来の礫の総数は位置の明確な礫の1.5倍ほどの数になると思われる。住居跡は小河川を望む低い場所に東西に直線的に並んでおり、五領ヶ台式期の住居跡は互いに数mの間隔を隔てて位置していた。

遺物では、五領ヶ台式期の比較的古い段階の土器群を中心にしており、これまで桂野遺跡で調査されてきた五領ヶ台式期の遺物群よりも一段階古い様相を持つ。時期が異なるが土偶も2個出土した。一つは新道式期のもので片手に壺を抱える形態の副部のみの個体である。もうひとつは曾利式期の頭部のみの個体である。石器は、石鎌、打製石斧、磨製石斧、石匙、石皿、スリ石などである。また、縄文時代には希少な搔器が多数出土した。小指の先ほどの小型のもので、これまでの調査でも確認されており、桂野遺跡を特長づける遺物である。



桂野遺跡 位置図



直列する住居址群



1号住居址埋窯炉



袋状土坑



土坑内埋設土器



集石群



集石底部の花弁状敷石

## 7. こうふじゆう 甲府城跡 [県指定史跡]

所在地 甲府市丸の内1-5地内

事業名 舞鶴城公園整備事業

調査期間 平成12年5月8日～7月10日

調査面積 100m<sup>2</sup>

担当者 宮里学 宮久保真紀

県指定史跡甲府城跡（舞鶴城公園）の整備事業は今年度で10年目をむかえる。これまでに、城内に鍛冶曲輪門、内松陰門、稻荷曲輪門の三門が復元されており、現在稻荷櫓の復元にむけて事業が進められている。また、今年度は公園南端に位置する遊亀橋の架け替え工事がおこなわれ、城内の整備もすすんでいる。

発掘調査については、稻荷曲輪西側部分の調査をおこなった。調査区は昨年度の調査区の西側に隣接している部分で、近年まで機関車が展示されていた付近である。江戸時代中期の柳沢時代の絵図『樂只堂年録』においては、付近に番所が描かれている。調査成果としては瓦溜一基が検出され、隣接する前年度調査区の瓦溜遺構と連続するものであると考えられる。

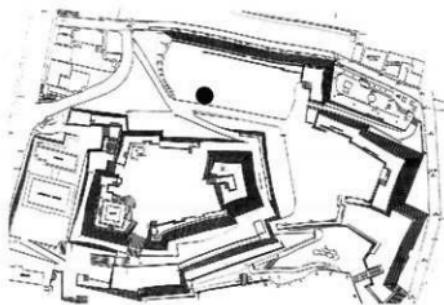
出土遺物としては、瓦がほとんどであるが、甲府城の築城に関わった豊臣家家臣浅野家の家紋である「違い鷹羽」の軒丸瓦や、豊臣氏の桐紋の飾り瓦の一部が出土している。また、鬼瓦の一部、すり鉢片、煙管が2点、陶器片なども出土している。

また、明治初期に撮影された古写真が発見され、これまで詳細にわからなかった櫓の意匠などが明らかになり、稻荷櫓の復元にも大きく影響した。また、新たに確認された古文書から、城内の建造物に使用された部材などが判明した。

その他、甲府ウィーク2000「輝きの祭典」では、城内恩賜林記念館を会場に出土遺物を展示し、2日間で延べ2000人近くの人が訪れた。



甲府城跡 位置図



第1図 発掘調査位置図



第2図 瓦溜検出状況（西より）



第3図 稲荷曲輪瓦溜完掘状況（東より）

はらまちのうぎょうこうこうまえ しもっぱら  
**8. 原町農業高校前（下原）遺跡**

所在 地 山梨県北巨摩郡長坂町渋沢1007-19外  
事業 名 峡北地区総合学科高校整備（北杜高校校舎建設）  
調査期間 2000年5月22日～12月8日  
調査面積 5,237m<sup>2</sup>  
担当者 野代幸和、山下大輔

本遺跡は、長坂町渋沢地内、標高620m前後の地点に所在し、八ヶ岳南麓七里岩台地上の小尾根先端に位置する。峡北地区総合学科高校整備事業に伴う事前調査は次年度以降に予定されるものも含めて県立峡北農業高等学校敷地内において実施されるものである。その内、今回調査を行った地点は、峡北農業高等学校の校舎及び体育館等の建造物のある部分を中心で、事業予定地内に見るとその北西部に当たる。当初、事業地内の遺跡全体をもって「原町農業高校前遺跡」として進めてきたが、本年度の調査において、次年度以降の調査予定地の地点とは遺跡が異なることがわかり、長坂町における遺跡台帳と照らし合わせて再検討したところ本年度調査地の多くが「下原遺跡」にかかっていることが判明したことから、これに従う方向で本報告では遺跡名を加筆し記載する事とした。

調査は既存の学校建物の解体工事と併行して基礎撤去ごとに遺構確認作業を行い、遺物を包含することが明らかとなった箇所について実施した。第2地点は搅乱のため遺構、遺物は確認できなかった。第1地点、第3地点においては学校建物によって搅乱を受けている部分があったが、その他においては遺存状態の良好な遺構も確認された。

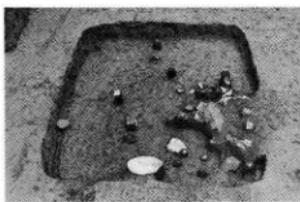
第1地点は尾根斜面部から底部にかけて位置しており、縄文時代以前に埋没した谷が確認された。その埋没谷周辺に縄文時代早期と考えられる陥り穴や竪穴状遺構が発見され、横位や縦位に帶状の文様帯を持つ楕円文や山形文の押型文土器が出土した。住居跡は縄文時代1軒、古墳時代1軒、平安時代2軒が確認された。中でも古墳時代中期の住居跡は焼失住居であり、ホゾ穴などの加工痕の残る建築部材や縮み物状の炭化物などが確認されている。また、平安時代の9世紀代に比定される第1号住居跡からは、壁際に2枚重なった状態でそれぞれ「寺」と「良」と墨書きされた壙が出土した。「寺」の字が書かれた墨書き土器が出土した遺跡は北巨摩郡内で小瀬沢町前田遺跡、蘿崎市宮ノ前遺跡について3例目である。本住居跡は竪穴の掘り込み周辺に柱穴を持つもので、このタイプの住居は近年県内に於いて徐々にではあるが確認されてきている。その他に、縄文時代早期や中期を中心とした土坑約270基が確認された。

第1地点と同じ尾根の頂部にある第3地点では縄文時代中期の土坑約40基と同時期の住居跡2軒が確認された。この2軒は切り合っており、第5号住居跡が中期中葉の藤内期終末、第6号住居跡が中期後葉の曾利期後半にあたる。古い段階に当たる5号住居は9本の柱穴を持つ大型のもので、最低一回の拡張を行っている。遺物は藤内から井戸尻期にかけての土器片や石器が住居の掘り込みに大量に廻棄されており、中には土偶頭部や耳栓などの遺物も出土している。

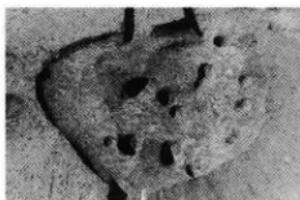
今回の調査では第1地点と第3地点の立地の違いにより、時代ごとに異なった土地利用の変遷が見られるといった成果が得られた。また、北巨摩の八ヶ岳南麓の台地上では平安時代にはいると突如として計画的な集落が出現するという傾向があるが、面的な調査を実施した第1地点(4489m<sup>2</sup>)では当該期の住居跡は2軒確認されたのみである。台地全体を調査しなければ確かなことは言えないが、少数の住居のみで構成されている本集落の事例は、仏教関連の遺物の出土と合わせて考察すると、一般的な集落とは異なる宗教的な色彩を帯びた集落であった可能性が考えられる。



原町農業高校前（下原）遺跡 位置図



第1号住居跡遺物出土状況（平安時代）



第1号竪穴状造構（縄文時代早期）



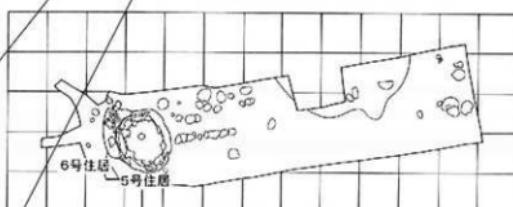
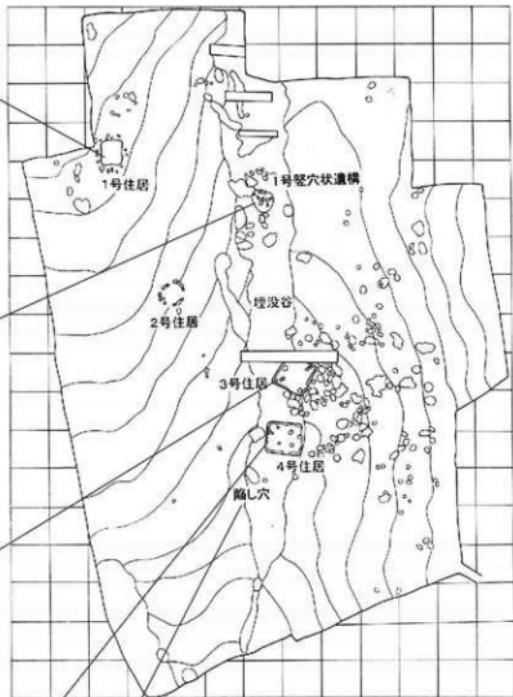
第3号住居跡炭化材出土状況（古墳時代中期）



第4号住居跡（平安時代）



脱し穴使用状況の復元（縄文時代早期）



第5・6号住居跡（古墳時代中期）

原町農業高校前 (下原) 遺跡  
第1地点全体図 (上)  
第3地点全体図 (下)  
※ 1マスは 5 m 四方  
図の上が真北を指す

## 9. 八ヶ岳東南麓遺跡群ほか遺跡分布調査

### 9-1. 甲府駅北口駐車場整備事業に伴う試掘調査

所在地 甲府市北口 2丁目158-1番地

遺跡名 甲府城下町遺跡

調査期間 2000年4月24日

調査面積 229.6m<sup>2</sup> (2,019.82m<sup>2</sup>)

担当者 小林広和、小林公治

調査範囲全体に東西方向のトレンチを5本設定し、整地層・暗褐色土層などからなる表土を現地表下50cmほど掘り下げた後、人力で遺構・遺物の確認を行った。その結果、全体的に搅乱されているものの、井戸5基、土坑数ヶ所、石組み溝、レンガ構造物などが確認された。また遺物には瓦や陶器類、かわらけ、井戸枠といった木製品類などがある。これらは近世から近代のものと見られ、甲府城下町に関連する遺構・遺物であると推測される。



試掘調査 位置図

### 9-2. 中部横断自動車道建設に伴う試掘調査

所在地 中巨摩郡八田村野牛島字立石下2586-1番地外

遺跡名 立石下堤防跡遺跡

調査期間 2000年5月15日～16日

調査面積 360m<sup>2</sup> (2,510m<sup>2</sup>)

担当者 米田明訓、齊藤伸

調査は重機により幅3m、長さ70mの第一トレンチと、幅3m、長さ50mの第二トレンチを深さ3m～5m掘り下げた。地層は、基本的にまずは耕作土、表土の整地層があり、その下に砂利層、褐色土層、砂礫層などが堆積している。その後、人力により断面を精査したが、遺構・遺物は全く確認できなかった。よって、調査区内に埋蔵文化財は存在しないと判断し、調査を終了した。



試掘調査 位置図

### 9-3. 国道137号線上黒駒バイパス建設事業に伴う試掘調査

所在地 東八代郡御坂町大字上黒駒字細野・新倉・原山・地内

遺跡名 細野・新倉・原山遺跡

調査期間 2000年5月17日～6月7日

調査面積 265m<sup>2</sup> (3,200m<sup>2</sup>)

担当者 保坂康夫、楠間美季江

A～C区の3ヶ所に渡る調査対象地区に対して長さ4～15m、幅1～2mのトレンチをそれぞれ13本、2本、4本の合計20本設定し、重機で30cm～1mほど掘り下げた後、人力で精査した。その結果、A区では縄文時代のものと見られる焼土土坑および土坑が各1ヶ所確認され、また縄文時代前期から中期の土器片がわずかながら出土した。B区では縄文時代後期の土坑および遺物が若干確認された。C区では遺構・遺物ともに全く認められなかった。



試掘調査 位置図

#### 9-4. 萩崎高等学校校舎改築に伴う試掘調査

所在地 萩崎市若宮3丁目2-1番地

遺跡名 神明遺跡

調査期間 2000年5月25・26日、6月1・2日

調査面積 233.2m<sup>2</sup> (2,000m<sup>2</sup>)

担当者 小林広和、小林公治

グラウンド内と旧体育館跡地の2地点に分かれる調査範囲に合計4本のトレンチを設定し、重機で表土層を掘り下げた後、人力で遺構・遺物の有無を確認した。土層は最上位に1m以上擾乱層があり、中位に水田床土と見られる粘質土が、最下位に塙川に由来すると見られる砂礫層が堆積する。遺構は旧体育館地点のBトレンチで近世と見られる溝2本が確認されたのみである。遺物は出土しなかった。



試掘調査 位置図

#### 9-5. 上野原警察署桐原派出所建設に伴う試掘調査

所在地 北都留郡上野原町桐原2362-2番地

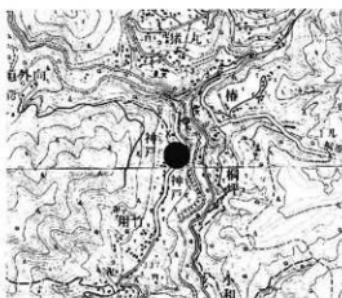
遺跡名 用竹遺跡

調査期間 2000年7月13日

調査面積 43.13m<sup>2</sup> (306.68m<sup>2</sup>)

担当者 小林広和、小林公治

東西方向にトレンチを2本設定し、重機で掘り下げた後、人力で遺構・遺物の有無を確認した。この結果、当地点は上位段丘面際の斜面地で、ローム面まで客土およびさほど古くはない厚い黒褐色土層が2m前後堆積していることが明らかになった。遺構はまったく確認されず、遺物は縄文土器片と黒曜石各1点が出土したが、これらは上位面からの流れ込みと推測される。



試掘調査 位置図

#### 9-6. 甲府東高等学校グラウンド整備事業に伴う試掘調査

所在地 甲府市酒折一丁目17-1番地

遺跡名 甲府東高等学校内遺跡

調査期間 2000年8月7~10日

調査面積 281.5m<sup>2</sup> (17,406m<sup>2</sup>)

担当者 小林広和、小林公治

グラウンド中央部、地下施設などを避けてグラウンド北辺に3本、西辺1本、南辺3本、東辺1本の合わせて8本のトレンチを設定し、重機で掘り下げた後、人力で遺構・遺物の有無を確認した。土層は最上位のグラウンド整備層が1m以上載り、その下位には植物を多量に含む黒褐色の泥炭質粘土層が1.5m以上も厚く堆積しており、この場所一帯がかなりの間一貫して安定した湿地帯であったことを示している。遺構は全く確認されず、遺物は近世以降の素焼き陶器片が1点出土したに過ぎない。



試掘調査 位置図

### 9-7. 塩山警察署待機宿舎建設に伴う試掘調査

所在地 塩山市熊野字前田1131番地

遺跡名 熊野前田遺跡

調査期間 2000年7月19・21日

調査面積 171m<sup>2</sup> (1,756m<sup>2</sup>)

担当者 小林広和、小林公治

調査範囲内に建築建物計画に従って3本のトレンチを設定、重機で掘り下げた後、人力で造構・遺物の有無を確認した。土層は基本的に3層からなり、最上位に40cmほどの厚さの表土耕作土層、中位に20cmほどの暗褐色土層、最下位がローム層に対応すると見られる砂質黄褐色土層となる。造構は確認されなかつたが、遺物は表採品も含め若干量であるが調査範囲全体から出土している。層位的には表土層から中近世以降の陶器類がわずかに、暗褐色土層からは縄文時代の土器・石器が出土し、この他古代の土師器片などがある。こうした試掘状況と周知の遺跡範囲を勘案すると、遺跡の中心は本地点より西側に広がっていると推測される。

### 9-8. 知事公舎駐車場整備事業に伴う試掘調査

所在地 甲府市宮前町186~193番地

遺跡名 八幡神社遺跡

調査期間 2000年8月11日

調査面積 117m<sup>2</sup> (2,900m<sup>2</sup>)

担当者 小林広和、小林公治

対象範囲内のうち、掘削可能な中央部に合計6本のおおよそ南北方向のトレンチを設定、重機で表土層を掘り下げた後、人力で造構・遺物の有無を確認した。土層は基本的に30cm前後の表土層下に厚さ10~30cm厚の褐色土層が堆積し、その下位はローム層となる。造構は北東寄りのトレンチで古代と見られる土坑が1ヶ所確認された。遺物はこの土坑覆土から土師器が少量出土した以外には検出されなかった。こうした試掘状況と周知の遺跡範囲を勘案すると、遺跡の中心は本地点より西側に広がっていると推測される。

### 9-9. 巨摩高等学校図書館棟建設事業に伴う試掘調査

所在地 中巨摩郡檍形町小笠原1500-2番地

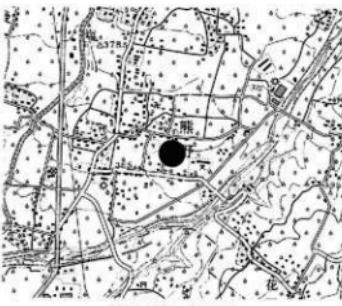
遺跡名 巨摩高等学校内遺跡

調査期間 2000年8月21日

調査面積 91m<sup>2</sup> (1,700m<sup>2</sup>)

担当者 小林広和、小林公治

範囲内に東西方向のトレンチを3本ほど平行に設定、重機で掘り下げた後、造構・遺物の有無を確認した。土層は最上位に現代の擾乱層が1m前後堆積し、その下位に厚さ40~60cmの淡褐色純砂層、厚さ40cm以上の褐色土層と続き、最下位がかなり厚い純砂疊層となっていた。造構・遺物とともに全く検出されなかつた。



試掘調査 位置図



試掘調査 位置図



試掘調査 位置図

#### 9-10. 中部横断自動車道増穂I.C.建設事業に伴う試掘調査

所在地 南巨摩郡増穂町大字青柳町地内

遺跡名 町屋口遺跡、青柳河岸遺跡隣接地

調査期間 2000年8月28日～9月8日

調査面積 2,109m<sup>2</sup> (18,500m<sup>3</sup>)

担当者 小林広和、小林公治

調査範囲全体に南北・東西方向のトレーナーを合計16本設定し、重機で掘り下げた後、人力で遺構・遺物の有無を確認した。土層はトレーナーによって層相を異にするが、基本的には上位は現代の水田・耕作土層と見られる層厚70cm～1.6mほどの砂質層、下位が60cm以上の厚さに水平堆積した強還元青灰色砂およびシルトの互層となっている。出土遺物からこの下位層は江戸時代末期以降のものと見られる。遺構は北端のトレーナーで近世以降の小溝2条が確認されたのみで、遺物は近世以降の杭・漆器碗・新寛永通宝・磁器碗等が少量出土している。



試掘調査 位置図

#### 9-11. 甲西バイパス建設事業に伴う試掘調査

所在地 南巨摩郡御坂町仲町1121番地外

遺跡名 仲町遺跡

調査期間 2000年10月4日～10月5日

調査面積 280m<sup>2</sup> (3,450m<sup>3</sup>)

担当者 小林広和、小林公治

対象範囲のうち買収用地がまとまっていて重機の搬入可能な地点に合計5本のトレーナーを設定、重機で掘り下げた後、人力で遺構・遺物の有無を確認した。土層は、表土耕作土層下に一部で強還元している砂質の褐色土層が厚く堆積し、その下位は純砂層となっているようである。また全体的に湧水がかなり激しく、遺構はまったく確認されなかった。遺物も近現代の陶磁器類が表土層からわずかに出土したに過ぎない。



試掘調査 位置図

#### 9-12. 甲府税務署増築事業に伴う工事立会調査

所在地 甲府市丸の内1丁目11-6番地

遺跡名 甲府城下町遺跡

調査期間 2000年10月22日～10月23日

調査面積 38m<sup>2</sup> (38m<sup>3</sup>)

担当者 小林広和、小林公治

増築工事範囲が狭く、さらに既存建物の基礎工事がかなり深くまで及んでいた事などの理由により、立会調査を行った。地表下1m前後まで建物基礎による攪乱が達しており、その下位には粘質の暗褐色土が認められた。この層の時期については近世以前とも以後とも判然としない。またこの調査範囲では、江戸期の遺構・遺物は認められなかった。ただし、近世絵図では調査地点一帯は待屋敷として利用されており、一帯で開発計画がある際には小面積であってもそれぞれ調査を実施する必要がある。



試掘調査 位置図

### 9-13. 県立中央病院増築事業に伴う試掘調査

所在地 甲府市富士見一丁目1-1番地

遺跡名 富士見一丁目遺跡

調査期間 2000年11月7日

調査面積 85m<sup>2</sup> (600m<sup>2</sup>)

担当者 小林広和、小林公治

調査範囲の長軸方向に対して2本ほど平行にトレーナチを設定し、重機で掘り下げた後、人力で遺構・遺物の有無を確認した。土層は最上位の整地層下位には厚さ2m以上にわたって砂礫、砂層などの河川形成層が堆積していたが、これらは西側間近を流下する荒川の堆積物であると考えられる。また平成10年度の東寄り地点の調査で検出された水田層はまったく認められず、遺物も出土しなかった。

### 9-14. 新山梨環状道路建設事業に伴う試掘調査

所在地 中巨摩郡玉穂町成島字二又761番地外

遺跡名 二又第2遺跡、神明遺跡、北河原遺跡

調査期間 2000年11月8日～11月27日

調査面積 2,681m<sup>2</sup> (49,000m<sup>2</sup>)

担当者 小林広和、小林公治

調査範囲全体に合計37本のトレーナチを設定、重機で掘り下げた後、人力で遺構・遺物の有無を確認した。土層は地点によって異なるが、基本的には最上位に表土耕作土層、中位に細砂からシルトを主体とする酸化・還元層、最下位に透水層となっている純砂層がある。ただしX～Zトレーナチ付近では中位層が土壤化しており、一部は安定した微高地であったと見られる。3ヶ所の周知の遺跡範囲付近では遺構は確認されず、少量の土器が出土したに過ぎない。しかし、X～Zトレーナチでは中世の寺院跡に関連するとみられる墓壙・溝などが確認された他、18世紀を主とする陶磁器類がややまとめて出土した。

### 9-15. 塩山東バイパス建設事業に伴う試掘調査

所在地 塩山市熊野1070-1番地外

遺跡名 摩王遺跡

調査期間 2000年12月11日～12月13日

調査面積 400m<sup>2</sup> (7,100m<sup>2</sup>)

担当者 小林広和、小林公治

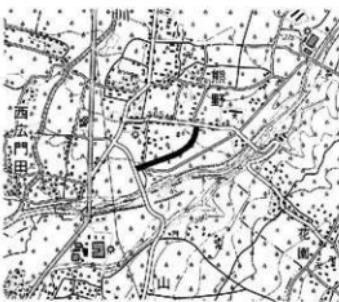
調査範囲に合計11本のトレーナチを設定、重機で掘り下げた後、人力で遺構・遺物の有無を確認した。土層は北東側と南西側とで異なり、前者では表土層下に純砂層が厚く堆積するが、後者では薄い砂層を挟む様、暗褐色土層が形成されている。遺構は南西端の二つのトレーナチでおそらく近代以降と見られる土坑が確認されたのみで、遺物は南西寄りのトレーナチから繩文時代中期、弥生時代後期から古墳時代前期の土器片、近世近代の陶磁器類が少量ながら出土した。



試掘調査 位置図



試掘調査 位置図



試掘調査 位置図

#### 9-16. 県立福祉プラザ駐車場整備事業に伴う試掘調査

所在地 甲府市北新1丁目2654-1番地外

遺跡名 北新1丁目遺跡

調査期間 2000年12月18日

調査面積 132m<sup>2</sup> (650m<sup>2</sup>)

担当者 小林広和、小林公治

調査範囲にトレーナーを3本設定、重機により掘り下げた後、人力で遺構・遺物を確認した。土層は表土層直下がすぐ水成ロームと思われる溝った粘質淡黄褐色土となる。この層には近代以降と見られる溝およびピットが掘り込まれていたが、その機能等についてははっきりしない。遺物はまったく出土しなかつた。



試掘調査 位置図

#### 9-17. 西関東道路建設事業に伴う試掘調査

所在地 山梨市落合字延命寺270-1番地外

遺跡名 延命寺遺跡

調査期間 2000年1月15日～1月22日

調査面積 1,055m<sup>2</sup> (9,700m<sup>2</sup>)

担当者 小林広和、小林公治

調査範囲全体に合計21本のトレーナーを設定、重機で掘り下げた後、人力で遺構・遺物の有無を確認した。土層は表土層下に粘質暗灰褐色土、褐色砂、黒褐色土が順次堆積し、その下位は厚く堆積した淡黄褐色砂となっている。また中央部では小河川を挟む両側地点で、黒褐色土と淡黄褐色砂層が互層にラミナ状堆積しており、この黒褐色土中から平安時代土器が出土した。

出土状況からこれらは溢流として上流側から土と共に運ばれ再堆積したものと考えられる。なお、遺構は全く確認されなかった。出土遺物には判読できないものの墨書きされた土師器壺などがある。



試掘調査 位置図

#### 9-18. 甲西バイパス建設事業に伴う試掘調査

所在地 中巨摩郡八田村野牛島字横堀下1408-1番地外

遺跡名 横堀下遺跡

調査期間 2000年2月5日～2月14日

調査面積 830m<sup>2</sup> (5,650m<sup>2</sup>)

担当者 小林広和、小林公治

本地点には中世以降の堤防跡が存在する可能性があるため、調査範囲にトレーナー9本を設定、重機でできるだけ広くまた深く掘り下げるようにし、人力で遺構・遺物の有無を確認した。土層は、表土耕作上層下には御勤使川系の洪水堆積物である暗灰褐色砂礫層が2mから5mほど堆積し、その下位には釜無川系の洪水堆積物である淡桃褐色砂層がある。これらの各層はいずれも水平に堆積しており、この地点に堤防が築かれた形跡はまったく窺われなかった。また遺物も出土しなかった。



試掘調査 位置図

### III 県内の概況

#### 1. 発掘調査

2000年度に実施された県内の発掘調査件数は、試掘調査を含めて215件となっている。その内訳は、県が25件・市町村が185件・調査団や調査会が5件である。発掘調査の原因は、個人住宅61件、道路34件、その他建物21件、宅地造成21件、集合住宅17件、その他開発22件、農業関連14件、工場5件、学校5件、ガス3件等といった緊急調査と、4件の学術調査や4件の遺跡整備があり、その調査対象面積の合計は、昨年度に比べ約17万m<sup>2</sup>減の429,360.64m<sup>2</sup>となっている。しかし調査面積が減少してきているものの、出土遺物の量は必ずしも減少しているわけではなく、今年度の集計はまだ行っていないが、昨年度では県・市町村を含め2,148箱（プラスチックコンテナ箱換算）で、平成10年度では1,235箱であった。このことは継続事業という理由ばかりではなく、集落遺跡を調査していることに起因するものである。

なお過去18年間の発掘調査件数の変遷は、次ページの表のとおりである。ここ2、3年の大幅な伸びは、民間業者の間でも包蔵地での工事の届け出が必要だという認識が浸透してきたものと思われる。

#### 2. 発掘調査の成果と保存整備事業

縄文時代では、忍野村笠見原遺跡で地表下約6.0m付近から早期（約7,000年前）の住居跡や土坑、集石跡などの構造や、底部尖底土器、土偶、石器等の出土や、土層断面から富士山の生成過程と、当時の人の関わりが窺える火山灰の堆積がみられ、貴重な資料となっている。

丹波山村高尾成畠遺跡第3次調査では、五角形の敷石住居が検出され、儀式を行う祭祀遺構であった可能性が高いとしている。弥生時代の遺跡では、境川村石橋遺跡で後期の掘立柱建物跡から礎板が出土している。県内では、御坂町境沢遺跡に次いで2例目であり、該期の建造物の研究を進める上で重要な資料である。弥生時代以降の遺跡では、甲府市の久保山・道々茅木遺跡から弥生時代後期～平安時代の膨大な上器資料の他に、特筆されるものとして県内初の出土例となる平安時代の「銘前」が出土している。同じく甲府市の大坪遺跡では、奈良・平安時代の住居跡や溝・掘立柱建物跡等と共に多量の木製品が出土し、この地域が県内でも有数の重要な遺跡の一部であることが判明した。また昨年度から実施している白根町百々遺跡では、平安時代の青銅製の竿秤の錠が出土し、全国でも数少ない資料として話題となった。

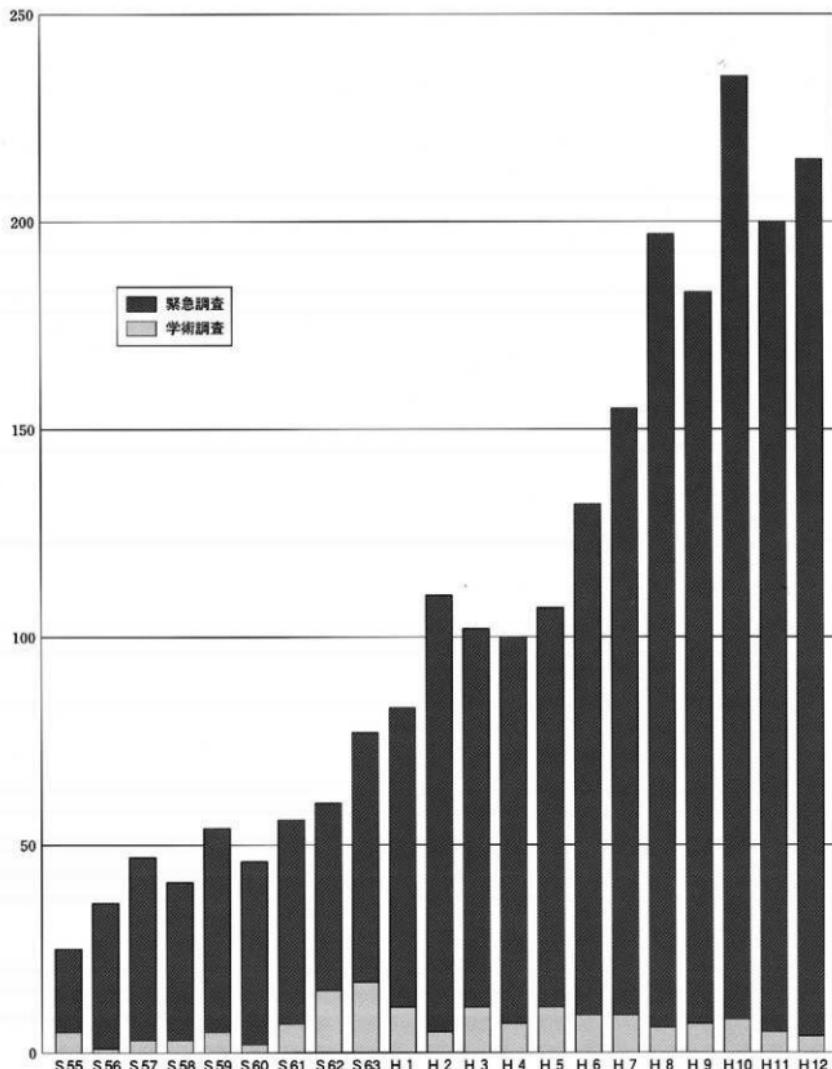
中・近世では、保存整備に伴って大泉村の谷戸城跡、蘿崎市の新府城跡等で発掘調査が行われており、城郭の構造が明らかになってきた。鷹沢町の鷹沢河岸跡からは、甲州のみで通用した江戸時代の甲州金「毫分判」が出土するなど、今後の調査に期待がもたれている。

県指定史跡甲府城では、整備事業が今年度で10年目を迎えて、城内に鍛冶曲輪門・内松陰門・稻荷曲輪門の三門が復元されており、現在稻荷櫓の復元に向けて事業が進められている。

#### 3. 調査体制

埋蔵文化財専門職員（埋蔵文化財担当および担当可能職員）について、県が学術文化財課5名（うち博物館関係1名）、埋蔵文化財センター33名（他に非常勤嘱託2名、臨時職員2名）、考古博物館2名（他に非常勤嘱託1名）、市町村では、甲府市7名、蘿崎市2名、一宮町2名、御坂町2名、八代町2名、長坂町2名、塩山市、山梨市、都留市、勝沼町、牧丘町、春日居町（郷土館兼務）、石和町、境川村、中道町、豊富村、三珠町、増穂町、甲西町、獅形町、敷島町（他に非常勤嘱託1名）、竜王町、若草町（昭和町と共同設置）、八田村（非常勤嘱託）、白根町、双葉町、須玉町（他に非常勤嘱託1名）、明野村（他に非常勤嘱託6名）、高根町、大泉村（他に非常勤嘱託1名）、白州町、武川村（他に非常勤嘱託1名）、小瀬沢町、上野原町に各1名、また大月市の郷土博物館に2名、富士吉田市の歴史民俗博物館に2名の合計59名（非常勤嘱託を含む）となっており、64市町村のうち56%にあたる36市町村に配属されている。

## 山梨県埋蔵文化財発掘調査件数の推移



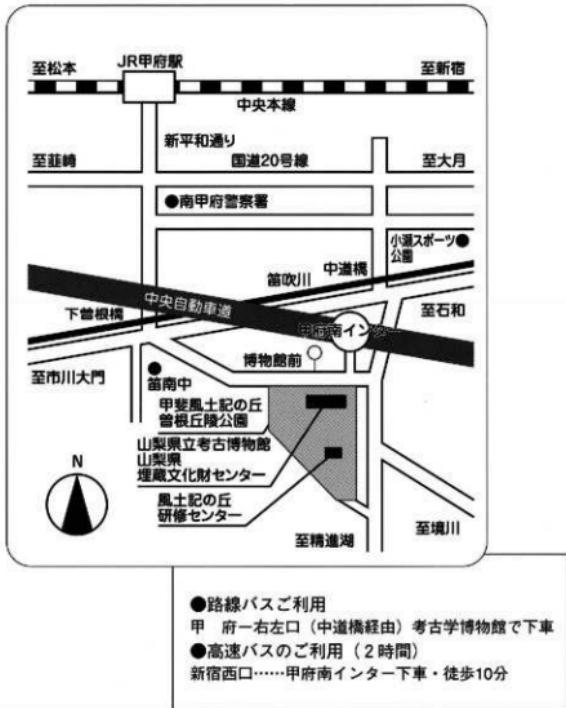
## 2000年度 発掘調査一覧表

No.	調査地名	所在地	面積(㎡)	施設の利用期	施設の時代	施設の特徴	調査日	調査委託会社	調査実績
1 上野山遺跡	東京都世田谷区上野山遺跡内	160.80 面積	160.80 面積	縄文・古墳・平安	縄文・古墳・平安	縄文・古墳・平安	H21.2.15	-	H22.4.3
2 朝令山遺跡	東京都世田谷区上野山遺跡内	164.35 面積	164.35 面積	縄文・古墳	縄文・古墳	縄文・古墳	H21.3.31	-	H22.4.4
3 甲子山古墳群	東京都世田谷区上野山遺跡内	2090.80 面積	2090.80 面積	縄文・古墳	縄文・古墳	縄文・古墳	H21.4.17	-	H22.4.17
4 今井山遺跡	東京都世田谷区上野山遺跡内	1740.60 面積	1740.60 面積	縄文・古墳・平安	縄文・古墳・平安	縄文・古墳・平安	H21.5.9	-	H22.4.27
5 久保山・孟宗林遺跡	東京都世田谷区上野山遺跡内	2080.80 面積	2080.80 面積	縄文・古墳・平安	縄文・古墳・平安	縄文・古墳・平安	H21.6.19	-	H22.1.20
6 甲子山遺跡E2-10-5	東京都世田谷区上野山遺跡内	48.76 面積	48.76 面積	縄文・古墳	縄文・古墳	縄文・古墳	H21.4.17	-	H22.4.18
7 上野山古墳群	東京都世田谷区上野山遺跡内	22.80 面積	22.80 面積	縄文・古墳・平安	縄文・古墳・平安	縄文・古墳・平安	H21.4.14	-	H22.4.7
8 丸の内遺跡	東京都千代田区丸の内地区	22.80 面積	22.80 面積	縄文・古墳	縄文・古墳	縄文・古墳	H21.4.14	-	H22.4.8
9 三崎山遺跡	東京都世田谷区上野山遺跡内	277.80 面積	277.80 面積	縄文・古墳	縄文・古墳	縄文・古墳	H21.4.21	-	H22.4.26
10 永山・鶴間遺跡	東京都世田谷区上野山遺跡内	276.80 面積	276.80 面積	縄文・古墳	縄文・古墳	縄文・古墳	H21.4.21	-	H22.4.13
11 留置場跡	東京都世田谷区上野山遺跡内	460.80 面積	460.80 面積	縄文・古墳・墓地	縄文・古墳・墓地	縄文・古墳・墓地	H21.4.11	-	H22.5.30
12 八丁山遺跡	東京都世田谷区上野山遺跡内	50.80 面積	50.80 面積	縄文・古墳	縄文・古墳	縄文・古墳	H21.4.19	-	H22.4.19
13 木下山古墳	東京都世田谷区上野山遺跡内	259.85 面積	259.85 面積	縄文・古墳	縄文・古墳	縄文・古墳	H21.4.11	-	H22.4.13
14 菊ノ木山古墳	東京都世田谷区上野山遺跡内	2469.80 面積	2469.80 面積	縄文・古墳	縄文・古墳	縄文・古墳	H21.4.27	-	H22.4.28
15 有吉山古墳	東京都世田谷区上野山遺跡内	2090.80 面積	2090.80 面積	縄文・古墳	縄文・古墳	縄文・古墳	H21.5.8	-	H22.2.9
16 有吉山古墳	東京都世田谷区上野山遺跡内	2690.80 面積	2690.80 面積	縄文・古墳	縄文・古墳	縄文・古墳	H21.4.25	-	H22.5.30
17 金ヶ原山古墳	東京都世田谷区上野山遺跡内	68.80 面積	68.80 面積	縄文・古墳	縄文・古墳	縄文・古墳	H21.4.17	-	H22.4.25
18 有吉山古墳	東京都世田谷区上野山遺跡内	500.80 面積	500.80 面積	縄文・古墳	縄文・古墳	縄文・古墳	H21.4.11	-	H22.4.10
19 有吉山古墳	東京都世田谷区上野山遺跡内	500.80 面積	500.80 面積	縄文・古墳	縄文・古墳	縄文・古墳	H21.5.16	-	H22.4.30
20 有吉山古墳	東京都世田谷区上野山遺跡内	500.80 面積	500.80 面積	縄文・古墳	縄文・古墳	縄文・古墳	H21.5.16	-	H22.4.26
21 有吉山古墳	東京都世田谷区上野山遺跡内	50.85 面積	50.85 面積	縄文・古墳	縄文・古墳	縄文・古墳	H21.5.16	-	H22.4.25
22 有吉山古墳	東京都世田谷区上野山遺跡内	2688.80 面積	2688.80 面積	縄文・古墳	縄文・古墳	縄文・古墳	H21.5.16	-	H22.3.19
23 有吉山古墳	東京都世田谷区上野山遺跡内	1056.80 面積	1056.80 面積	縄文・古墳	縄文・古墳	縄文・古墳	H21.5.17	-	H22.3.19
24 立石山遺跡	東京都世田谷区上野山遺跡内	500.80 面積	500.80 面積	縄文・古墳	縄文・古墳	縄文・古墳	H21.5.15	-	H22.5.19
25 有吉山古墳	東京都世田谷区上野山遺跡内	440.80 面積	440.80 面積	縄文・古墳	縄文・古墳	縄文・古墳	H21.5.10	-	H22.5.10
26 有吉山古墳	東京都世田谷区上野山遺跡内	500.80 面積	500.80 面積	縄文・古墳	縄文・古墳	縄文・古墳	H21.5.8	-	H22.5.16
27 有吉山古墳	東京都世田谷区上野山遺跡内	500.80 面積	500.80 面積	縄文・古墳	縄文・古墳	縄文・古墳	H21.5.16	-	H22.4.28
28 有吉山古墳	東京都世田谷区上野山遺跡内	500.80 面積	500.80 面積	縄文・古墳	縄文・古墳	縄文・古墳	H21.5.16	-	H22.4.28
29 有吉山古墳	東京都世田谷区上野山遺跡内	500.80 面積	500.80 面積	縄文・古墳	縄文・古墳	縄文・古墳	H21.5.19	-	H22.4.19
30 有吉山古墳	東京都世田谷区上野山遺跡内	500.80 面積	500.80 面積	縄文・古墳	縄文・古墳	縄文・古墳	H21.5.26	-	H22.3.29
31 有吉山古墳	東京都世田谷区上野山遺跡内	500.80 面積	500.80 面積	縄文・古墳	縄文・古墳	縄文・古墳	H21.5.22	-	H22.1.17
32 有吉山古墳	東京都世田谷区上野山遺跡内	500.80 面積	500.80 面積	縄文・古墳	縄文・古墳	縄文・古墳	H21.5.25	-	H22.9.20
33 有吉山古墳	東京都世田谷区上野山遺跡内	500.80 面積	500.80 面積	縄文・古墳	縄文・古墳	縄文・古墳	H21.5.25	-	H22.5.31
34 有吉山古墳	東京都世田谷区上野山遺跡内	500.80 面積	500.80 面積	縄文・古墳	縄文・古墳	縄文・古墳	H21.5.16	-	H22.5.16
35 有吉山古墳	東京都世田谷区上野山遺跡内	500.80 面積	500.80 面積	縄文・古墳	縄文・古墳	縄文・古墳	H21.5.16	-	H22.4.28
36 有吉山古墳	東京都世田谷区上野山遺跡内	500.80 面積	500.80 面積	縄文・古墳	縄文・古墳	縄文・古墳	H21.5.27	-	H22.4.23
37 有吉山古墳	東京都世田谷区上野山遺跡内	500.80 面積	500.80 面積	縄文・古墳	縄文・古墳	縄文・古墳	H21.5.26	-	H22.5.27
38 有吉山古墳	東京都世田谷区上野山遺跡内	500.80 面積	500.80 面積	縄文・古墳	縄文・古墳	縄文・古墳	H21.4.26	-	H22.4.7
39 有吉山・鶴間遺跡	東京都世田谷区上野山遺跡内	500.80 面積	500.80 面積	縄文・古墳	縄文・古墳	縄文・古墳	H21.4.25	-	H23.3.30
40 有吉山・C遺跡	東京都世田谷区上野山遺跡内	441.80 面積	441.80 面積	縄文・古墳	縄文・古墳	縄文・古墳	H21.4.27	-	H22.7.31
41 有吉山・D遺跡	東京都世田谷区上野山遺跡内	200.58 面積	200.58 面積	縄文・古墳	縄文・古墳	縄文・古墳	H21.5.25	-	H22.4.9
42 有吉山・E遺跡	東京都世田谷区上野山遺跡内	1521.40 面積	1521.40 面積	縄文・古墳	縄文・古墳	縄文・古墳	H21.6.1	-	H22.12.25
43 繩文・新食文化	東京都世田谷区上野山遺跡内	164.80 面積	164.80 面積	縄文・古墳	縄文・古墳	縄文・古墳	H21.5.15	-	H22.4.26
44 有吉山・F遺跡	東京都世田谷区上野山遺跡内	222.40 面積	222.40 面積	縄文・古墳	縄文・古墳	縄文・古墳	H21.5.27	-	H22.4.16
45 有吉山・G遺跡	東京都世田谷区上野山遺跡内	528.80 面積	528.80 面積	縄文・古墳	縄文・古墳	縄文・古墳	H21.6.15	-	H22.4.16
46 有吉山・H遺跡	東京都世田谷区上野山遺跡内	65.80 面積	65.80 面積	縄文・古墳	縄文・古墳	縄文・古墳	H21.5.26	-	H22.5.29
47 有吉山・I遺跡	東京都世田谷区上野山遺跡内	572.46 面積	572.46 面積	縄文・古墳	縄文・古墳	縄文・古墳	H21.6.16	-	H22.4.30
48 有吉山・J遺跡	東京都世田谷区上野山遺跡内	40.80 面積	40.80 面積	縄文・古墳	縄文・古墳	縄文・古墳	H21.6.1	-	H22.4.7
49 立石山遺跡	東京都世田谷区上野山遺跡内	90.80 面積	90.80 面積	縄文・古墳	縄文・古墳	縄文・古墳	H21.6.1	-	H22.7.14
50 有吉山・K遺跡	東京都世田谷区上野山遺跡内	215.14 面積	215.14 面積	縄文・古墳	縄文・古墳	縄文・古墳	H21.6.25	-	H22.7.25
51 有吉山・L遺跡	東京都世田谷区上野山遺跡内	92.80 面積	92.80 面積	縄文・古墳	縄文・古墳	縄文・古墳	H21.7.3	-	H23.3.28
52 有吉山・M遺跡	東京都世田谷区上野山遺跡内	90.80 面積	90.80 面積	縄文・古墳	縄文・古墳	縄文・古墳	H21.4.1	-	H23.3.31



№	通　　路　　名	在　　場	面　　積	施設の種類	通　　路　　の　　時代	通　　路　　の　　時代	運　　送　　機	運　　送　　機
108	東山通路	久喜市久喜町字下原375番-1	3,759.0	普通	現文	工場	馬車	馬車
109	田畠通路	久喜市久喜町字上原375番-1	12,73.0	普通	現文・平安	馬車	馬車	馬車
110	高柳通路	久喜市久喜町字下原3022番	120.0	普通	口交	馬車	馬車	馬車
111	小川通路	久喜市久喜町字下原3022番-2	213.0	普通	現文	馬車	馬車	馬車
112	川内通路	久喜市久喜町字下原322番	80.0	普通	現文・平安	中古	馬車	馬車
113	柳原通路	久喜市久喜町字下原325番	1,650.0	普通	現文	馬車	馬車	馬車
114	新河原通路	久喜市久喜町字下原325番	1,760.0	普通	現文	馬車	馬車	馬車
115	新河原通路	久喜市久喜町字下原325番	1,760.0	普通	現文	馬車	馬車	馬車
116	分野通路	久喜市久喜町字下原325番	1,760.0	普通	現文	馬車	馬車	馬車
117	大字通路	久喜市久喜町字下原326番1号	180.0	普通	現文	馬車	馬車	馬車
118	小字通路	久喜市久喜町字下原326番1号	100.0	普通	現文	馬車	馬車	馬車
119	新河原通路	久喜市久喜町字下原326番1号	260.0	普通	現文	馬車	馬車	馬車
120	赤坂通路	久喜市久喜町字下原326番1号	260.0	普通	現文	馬車	馬車	馬車
121	町内通路	久喜市久喜町字下原326番1号	260.0	普通	現文	馬車	馬車	馬車
122	町内通路	久喜市久喜町字下原326番1号	260.0	普通	現文	馬車	馬車	馬車
123	分野通路	久喜市久喜町字下原326番1号	260.0	普通	現文	馬車	馬車	馬車
124	赤坂通路	久喜市久喜町字下原326番1号	260.0	普通	現文	馬車	馬車	馬車
125	新河原通路	久喜市久喜町字下原326番1号	260.0	普通	現文	馬車	馬車	馬車
126	赤坂通路	久喜市久喜町字下原326番1号	260.0	普通	現文	馬車	馬車	馬車
127	赤坂通路	久喜市久喜町字下原326番1号	260.0	普通	現文	馬車	馬車	馬車
128	赤坂通路	久喜市久喜町字下原326番1号	260.0	普通	現文	馬車	馬車	馬車
129	赤坂通路	久喜市久喜町字下原326番1号	260.0	普通	現文	馬車	馬車	馬車
130	赤坂通路	久喜市久喜町字下原326番1号	260.0	普通	現文	馬車	馬車	馬車
131	赤坂通路	久喜市久喜町字下原326番1号	260.0	普通	現文	馬車	馬車	馬車
132	赤坂通路	久喜市久喜町字下原326番1号	260.0	普通	現文	馬車	馬車	馬車
133	赤坂通路	久喜市久喜町字下原326番1号	260.0	普通	現文	馬車	馬車	馬車
134	赤坂通路	久喜市久喜町字下原326番1号	260.0	普通	現文	馬車	馬車	馬車
135	赤坂通路	久喜市久喜町字下原326番1号	260.0	普通	現文	馬車	馬車	馬車
136	赤坂通路	久喜市久喜町字下原326番1号	260.0	普通	現文	馬車	馬車	馬車
137	立石通路	久喜市立石町字立石1号	650.0	普通	現文	馬車	馬車	馬車
138	立石通路	久喜市立石町字立石1号	827.0	普通	現文	馬車	馬車	馬車
139	立石通路	久喜市立石町字立石1号	120.0	普通	現文	馬車	馬車	馬車
140	立石通路	久喜市立石町字立石1号	200.0	普通	現文	馬車	馬車	馬車
141	立石通路	久喜市立石町字立石1号	99.16	普通	現文	馬車	馬車	馬車
142	立石通路	久喜市立石町字立石1号	490.00	普通	現文	馬車	馬車	馬車
143	立石通路	久喜市立石町字立石1号	461.0	普通	現文	馬車	馬車	馬車
144	立石通路	久喜市立石町字立石1号	380.0	普通	現文	馬車	馬車	馬車
145	立石通路	久喜市立石町字立石1号	650.0	普通	現文	馬車	馬車	馬車
146	立石通路	久喜市立石町字立石1号	650.0	普通	現文	馬車	馬車	馬車
147	立石通路	久喜市立石町字立石1号	516.40	普通	現文	馬車	馬車	馬車
148	立石通路	久喜市立石町字立石1号	483.57	普通	現文	馬車	馬車	馬車
149	立石通路	久喜市立石町字立石1号	93.40	普通	現文	馬車	馬車	馬車
150	立石通路	久喜市立石町字立石1号	260.0	普通	現文	馬車	馬車	馬車
151	立石通路	久喜市立石町字立石1号	341.42	普通	現文	馬車	馬車	馬車
152	立石通路	久喜市立石町字立石1号	516.40	普通	現文	馬車	馬車	馬車
153	立石通路	久喜市立石町字立石1号	516.40	普通	現文	馬車	馬車	馬車
154	立石通路	久喜市立石町字立石1号	516.40	普通	現文	馬車	馬車	馬車
155	立石通路	久喜市立石町字立石1号	516.40	普通	現文	馬車	馬車	馬車
156	立石通路	久喜市立石町字立石1号	516.40	普通	現文	馬車	馬車	馬車
157	立石通路	久喜市立石町字立石1号	516.40	普通	現文	馬車	馬車	馬車
158	立石通路	久喜市立石町字立石1号	516.40	普通	現文	馬車	馬車	馬車
159	立石通路	久喜市立石町字立石1号	516.40	普通	現文	馬車	馬車	馬車
160	立石通路	久喜市立石町字立石1号	516.40	普通	現文	馬車	馬車	馬車
161	立石通路	久喜市立石町字立石1号	516.40	普通	現文	馬車	馬車	馬車
162	立石通路	久喜市立石町字立石1号	516.40	普通	現文	馬車	馬車	馬車

No.	通 勤 名	所 在 地	行 程	距離(市)	運送の種類	運送の時代	その他の記述(不明)	その他の記述(不明)	運送委託料	運送委託料
153	北洋-丁日地勤	甲府上野町丁日地65-1~5	65.90	その他の運送(不明)	普通、会員、平安	明治後期(1870年)	その他の運送(不明)	その他の運送(不明)	H12.22.8	H12.22.8
165	石川-中野行進	北洋新幹線東京駅前新橋4477-1 東八丁目一室町新井本町、宇田川町新井外	478.90	船外寄	普通、会員、平安	明治、会員、平安	普通、会員、平安	普通、会員、平安	H12.12.3	H12.12.3
166	東京-永山通勤	東八丁目一室町新井本町、宇田川町新井外	478.90	船外寄	普通、会員、平安	明治、会員、平安	普通、会員、平安	普通、会員、平安	H12.10.17	H12.12.25
167	上久保通勤	北洋新幹線東京駅前新橋286-3	260.00	船外寄	普通、会員、平安	明治、会員、平安	普通、会員、平安	普通、会員、平安	H12.10.11	H12.12.25
168	和田通勤	北洋新幹線東京駅前新橋272-42	133.30	船外寄	普通、会員、平安	明治、会員、平安	普通、会員、平安	普通、会員、平安	H12.11.26	H13.1.31
169	美多分通勤	北洋新幹線東京駅前新橋272-41	226.90	船外寄	普通、会員、平安	明治、会員、平安	普通、会員、平安	普通、会員、平安	H12.12.7	H12.12.22
170	足利通勤	足利市中央通り大字千日市175-27	2162.30	船外寄	普通、会員、平安	明治、会員、平安	普通、会員、平安	普通、会員、平安	H12.21.1	H12.22.22
171	武藏小山通勤	東新幹線小山駅100番地付近3355番地44	12.00	その他の運送(不明)	普通、会員、平安	明治、会員、平安	普通、会員、平安	普通、会員、平安	H12.22.6	H12.22.6
172	足利各店通勤	東新幹線小山駅100番地付近3355番地44	50.90	船外寄	普通、会員、平安	普通、会員、平安	普通、会員、平安	普通、会員、平安	H13.1.20	H13.1.20
173	足利通勤	十日町通勤乗合車両、丁目3355番地44	187.00	船外寄	普通、会員、平安	普通、会員、平安	普通、会員、平安	普通、会員、平安	H13.1.20	H13.1.20
174	足利市通勤	十日町通勤乗合車両、丁目3355番地44	291.20	地下鉄	普通、会員、平安	普通、会員、平安	普通、会員、平安	普通、会員、平安	H13.1.25	H13.1.25
175	石野通勤	東八丁目新橋1番地付近新橋111	20.00	船外寄	普通、会員、平安	普通、会員、平安	普通、会員、平安	普通、会員、平安	H13.1.10	H13.1.21
176	足利通勤	東八丁目新橋1番地付近新橋111	10.00	その他の運送(不明)	普通、会員、平安	普通、会員、平安	普通、会員、平安	普通、会員、平安	H13.1.6	H13.1.22
177	朝日通勤	東八丁目新橋1番地付近新橋111	10.00	その他の運送(不明)	普通、会員、平安	普通、会員、平安	普通、会員、平安	普通、会員、平安	H13.1.6	H13.1.22
178	足利通勤	北洋新幹線東京駅前新橋272-1	591.00	船外寄	普通、会員、平安	普通、会員、平安	普通、会員、平安	普通、会員、平安	H12.2.18	H13.1.16
179	足利通勤	北洋新幹線東京駅前新橋272-1	184.00	船外寄	普通、会員、平安	普通、会員、平安	普通、会員、平安	普通、会員、平安	H13.1.16	H13.1.16
180	足利通勤	山梨県連合会議事堂付近1-18号	970.00	不明	普通、会員、平安	普通、会員、平安	普通、会員、平安	普通、会員、平安	H12.11.25	H13.1.19
181	竹原通勤	山梨県連合会議事堂付近1-18号	20.00	その他の運送(不明)	普通、会員、平安	普通、会員、平安	普通、会員、平安	普通、会員、平安	H13.1.19	H13.1.19
182	足利市通勤	北洋新幹線東京駅前新橋272-14	150.00	船外寄	普通、会員、平安	普通、会員、平安	普通、会員、平安	普通、会員、平安	H13.1.6	H13.1.21
183	足利通勤	北洋新幹線東京駅前新橋272-14	150.00	船外寄	普通、会員、平安	普通、会員、平安	普通、会員、平安	普通、会員、平安	H13.1.6	H13.1.21
184	足利通勤	北洋新幹線東京駅前新橋272-1	150.00	船外寄	普通、会員、平安	普通、会員、平安	普通、会員、平安	普通、会員、平安	H13.1.6	H13.1.21
185	足利通勤	北洋新幹線東京駅前新橋272-1	150.00	船外寄	普通、会員、平安	普通、会員、平安	普通、会員、平安	普通、会員、平安	H13.1.6	H13.1.21
186	足利通勤	北洋新幹線東京駅前新橋272-1	150.00	船外寄	普通、会員、平安	普通、会員、平安	普通、会員、平安	普通、会員、平安	H13.1.6	H13.1.21
187	足利通勤	北洋新幹線東京駅前新橋272-1	150.00	船外寄	普通、会員、平安	普通、会員、平安	普通、会員、平安	普通、会員、平安	H13.1.6	H13.1.21
188	足利通勤	北洋新幹線東京駅前新橋272-1	150.00	船外寄	普通、会員、平安	普通、会員、平安	普通、会員、平安	普通、会員、平安	H13.1.6	H13.1.21
189	六所・牛久通勤	北洋新幹線東京駅前新橋272-1	110.00	船外寄	普通、会員、平安	普通、会員、平安	普通、会員、平安	普通、会員、平安	H13.1.25	H13.1.25
190	足利通勤	北洋新幹線東京駅前新橋272-1	150.00	船外寄	普通、会員、平安	普通、会員、平安	普通、会員、平安	普通、会員、平安	H13.1.21	H13.1.21
191	足利通勤	北洋新幹線東京駅前新橋272-1	150.00	船外寄	普通、会員、平安	普通、会員、平安	普通、会員、平安	普通、会員、平安	H13.1.25	H13.1.25
192	足利通勤	北洋新幹線東京駅前新橋272-1	150.00	船外寄	普通、会員、平安	普通、会員、平安	普通、会員、平安	普通、会員、平安	H13.1.25	H13.1.25
193	足利通勤	甲府市役所前新橋272-1	132.65	船外寄	普通、会員、平安	普通、会員、平安	普通、会員、平安	普通、会員、平安	H13.1.25	H13.1.25
194	足利通勤	北洋新幹線東京駅前新橋272-1	246.00	船外寄	普通、会員、平安	普通、会員、平安	普通、会員、平安	普通、会員、平安	H13.1.25	H13.1.25
195	足利通勤	東八丁目新橋1番地付近新橋1-15	50.00	船外寄	普通、会員、平安	普通、会員、平安	普通、会員、平安	普通、会員、平安	H13.1.24	H13.1.24
196	足利通勤	東八丁目新橋1番地付近新橋1-15	400.00	船外寄	普通、会員、平安	普通、会員、平安	普通、会員、平安	普通、会員、平安	H13.1.25	H13.1.25
197	足利通勤	北洋新幹線東京駅前新橋272-1	241.00	船外寄	普通、会員、平安	普通、会員、平安	普通、会員、平安	普通、会員、平安	H13.1.19	H13.1.19
198	足利通勤	北洋新幹線東京駅前新橋272-1	150.00	船外寄	普通、会員、平安	普通、会員、平安	普通、会員、平安	普通、会員、平安	H13.1.25	H13.1.25
199	足利通勤	北洋新幹線東京駅前新橋272-1	150.00	船外寄	普通、会員、平安	普通、会員、平安	普通、会員、平安	普通、会員、平安	H13.1.25	H13.1.25
200	足利通勤	北洋新幹線東京駅前新橋272-1	150.00	船外寄	普通、会員、平安	普通、会員、平安	普通、会員、平安	普通、会員、平安	H13.1.24	H13.1.24
201	足利通勤	東八丁目新橋1番地付近新橋1-15	100.00	船外寄	普通、会員、平安	普通、会員、平安	普通、会員、平安	普通、会員、平安	H13.1.25	H13.1.25
202	足利通勤	東八丁目新橋1番地付近新橋1-15	179.00	船外寄	普通、会員、平安	普通、会員、平安	普通、会員、平安	普通、会員、平安	H13.1.25	H13.1.25
203	足利通勤	東八丁目新橋1番地付近新橋1-15	555.00	船外寄	普通、会員、平安	普通、会員、平安	普通、会員、平安	普通、会員、平安	H13.1.25	H13.1.25
204	足利通勤	北洋新幹線東京駅前新橋272-1	255.00	船外寄	普通、会員、平安	普通、会員、平安	普通、会員、平安	普通、会員、平安	H13.1.25	H13.1.25
205	足利通勤	北洋新幹線東京駅前新橋272-1	90.00	船外寄	普通、会員、平安	普通、会員、平安	普通、会員、平安	普通、会員、平安	H13.1.25	H13.1.25
206	足利通勤	北洋新幹線東京駅前新橋272-1	120.00	船外寄	普通、会員、平安	普通、会員、平安	普通、会員、平安	普通、会員、平安	H13.1.24	H13.1.24
207	足利通勤	北洋新幹線東京駅前新橋272-1	300.00	船外寄	普通、会員、平安	普通、会員、平安	普通、会員、平安	普通、会員、平安	H13.1.25	H13.1.25
208	足利通勤	東八丁目新橋1番地付近新橋1-15	51.75	船外寄	普通、会員、平安	普通、会員、平安	普通、会員、平安	普通、会員、平安	H13.1.25	H13.1.25
209	足利通勤	北洋新幹線東京駅前新橋272-1	200.00	船外寄	普通、会員、平安	普通、会員、平安	普通、会員、平安	普通、会員、平安	H13.1.25	H13.1.25
210	足利通勤	東八丁目新橋1番地付近新橋1-15	200.00	船外寄	普通、会員、平安	普通、会員、平安	普通、会員、平安	普通、会員、平安	H13.1.25	H13.1.25
211	足利通勤	北洋新幹線東京駅前新橋272-1	300.00	船外寄	普通、会員、平安	普通、会員、平安	普通、会員、平安	普通、会員、平安	H13.1.25	H13.1.25
212	足利通勤	北洋新幹線東京駅前新橋272-1	750.00	船外寄	普通、会員、平安	普通、会員、平安	普通、会員、平安	普通、会員、平安	H13.1.25	H13.1.25
213	足利通勤	北洋新幹線東京駅前新橋272-1	567.00	船外寄	普通、会員、平安	普通、会員、平安	普通、会員、平安	普通、会員、平安	H13.1.25	H13.1.25
214	足利通勤	北洋新幹線東京駅前新橋272-1	94.00	船外寄	普通、会員、平安	普通、会員、平安	普通、会員、平安	普通、会員、平安	H13.1.26	H13.1.26
215	足利通勤	北洋新幹線東京駅前新橋272-1	567.00	船外寄	普通、会員、平安	普通、会員、平安	普通、会員、平安	普通、会員、平安	H13.1.26	H13.1.26



## 年報 17

印刷日 平成13年11月5日

発行日 平成13年11月10日

発行所 山梨県埋蔵文化財センター

山梨県東八代郡中道町下曾根923

TEL 055-266-3881・055-266-3016

FAX 055-266-3882

印刷所 株式会社 少國民社

山梨県甲府市丸の内2-7-27

TEL 055-226-2125

